

鎌倉市

地方創生に関するアンケート調査結果

概要

目次

0. 要約

I. 市民対象調査

- a. 属性
- b. 晩婚化の要因の把握
- c. 希望の子どもの数
- d. 出生率の低下の要因の把握
- e. 「夫婦の出生力の低下」の背景となる要因把握
- f. 鎌倉市における居住選択要因の把握
- g. 鎌倉市で暮らしたいライフスタイル
- h. 学生・専業主婦・主夫・無職の就労意向

II. 転入・転出調査(転入)

- a. 属性
- b. 転出入理由の把握
- c. 鎌倉市の選択理由(転入者調査)
- d. 住宅の住み替えの評価

III. 転出・転出調査(転出)

- a. 属性
- b. 転出入理由の把握
- c. 転居先を選んだ理由(転出者調査)
- d. 住宅の住み替えの評価

IV. まとめ

調査から浮かび上がる市民イメージ

I. 市民対象調査 1/2

【晩婚化の要因の把握】

～独身でいる理由とは？～

- 「適当な相手とまだめぐり合わないから」と回答した方が47.7%で最も多くなっています。また男女とも30歳代、40歳代での回答割合が高くなっています。
- 続いて「今は、仕事(または学業)にうちこみたいから」31.8%、「結婚する必要性をまだ感じないから」27.1%、「結婚するにはまだ若すぎるから」25.2%の回答が多くなっています。
- 上記に加え、男性では「結婚資金が足りないから」(男性の31.9%)の回答が多くなっています。

【希望の子どもの数】

～独身者がほしい子どもの数、

既婚者が予定する子どもの数～

- 50歳未満の未婚者がほしい子どもの数として、「1人」と回答した方が7.9%、「2人」63.1%、「3人」15.9%となっています。
- 50歳未満の既婚者が予定の子どもの数として、「1人」と回答した方が20.0%、「2人」53.7%、「3人」12.9%となっています。

【出生率の低下の要因の把握】

～理想よりも子どもが少ない理由とは？～

- 市民が持つご予定の子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない理由として「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」と回答した方は回答者合計の50.6%で、男性(66.2%)、女性(43.9%)ともに最も高い回答割合となっています。
- 続いて男女とも「高年齢で生むのは不安だから」との答えが多く、回答者合計の18.0%となっています。女性では「家が狭いから」の回答も多く16.7%の女性が回答しています(男性4.5%)。

【「夫婦の出生力の低下」の背景となる要因把握】

～将来予想される出産の障壁とは何か？～

- 「今後もおつもりのお子さんの数が、もし結果的に持てないことがあるとしたら、その原因は何である可能性が高いですか(MA)」との問いに対し、「年齢や健康上の理由で子どもができないこと」と答えた方が回答者合計の35.3%で最も多く、「収入が不安定なこと」24.0%と「家事・育児の協力者がいないこと」19.7%が続いており、男女とも同様の傾向となっています。
- このうち「年齢や健康上の理由で子どもができないこと」と回答した方は、特に女性において、年齢が上がるにつれて、高くなっています。

0. 要約

I. 市民対象調査 2/2

【鎌倉市における居住選択要因の把握】

～なぜ鎌倉市に住み続けているのか？～

- 鎌倉市に住んでいる、住み続けている理由として「住宅が用意されていたから」と答えた方が回答者合計の28.6%、「配偶者が住んでいた、または、親族・知人が住んでいる」が27.4%となっています。
- 「海のある自然環境」、「山並みの緑などの自然環境」と回答した方がそれぞれ23.0%となっています。このうち「山並みの緑などの自然環境」の回答割合をみると女性が高くなっています(男性19.6%、女性25.2%)。また男性では「通勤・通学の時間」の回答割合が高くなっています(男性22.6%、女性16.2%)。
- 世帯収入別に見ると「住宅が用意されていたから」の回答者は世帯収入が「400万円未満」の方が最も多くなっています。また「配偶者が住んでいた、または、親族・知人が住んでいる」では「400万円～600万円未満」の方が、「海のある自然環境」、「山並みの緑などの自然環境」の回答者では世帯収入が「800万円以上」の方が最も回答割合の高い層となっています。
- 海や山並みなど自然環境を選んだ方は「鎌倉」「腰越」が、通勤時間や都心へのアクセスを選んだ方は「大船」「深沢」「玉縄」が多くなっています。

【居住継続に向けて必要な取組の把握】

～居住継続に向けて必要なこととは？～

- 鎌倉市に住みたいと思えるために必要なこととして、男女とも「安全・安心な生活環境の点で不安や問題がないこと」への回答が最も高くなっています(男性42.5%、女性42.4%)。
- 続いて「子育てしやすい環境(保育所など小学校就学前の環境)」(男性29.0%、女性40.9%)、「交通の便が良いこと」(男性29.9%、女性30.1%)の回答が多くなっています。

【鎌倉市で暮らしたいライフスタイル】

～あなたの理想の暮らしとは？～

- 生活全般について、鎌倉市でのように暮らしたいかとの問いに対し、「精神的に余裕のある生活を送りたい」、「経済的に余裕のある生活を送りたい」と回答した方が55.4%、54.9%と半数以上を占めています。
- 「自然と環境が守られた場所で生活をしたい」41.7%、「家族みんなで様々なことを楽しみたい」30.8%、「子どもには出来るだけのことをしてあげたい」30.7%が続いています。

【学生の就労意向】

～どこで働きたいか？どんな仕事で働きたいか？～

- 「就労を希望している」と回答した方のうち、働きたい場所として、「鎌倉市内」と回答した方が55.8%、「東京23区」と回答した方が10.2%となります。
- 「就労を希望している」と回答した方のうち、働きたい職種として、「生活関連サービス業、娯楽業」と「教育、学習支援業」と回答した方がそれぞれ19.7%を占めています。

0. 要約

II. 転入・転出調査

【転入理由の把握(転入者調査)】

～なぜ鎌倉市に引っ越してきたのか？～

- 転入の理由を、「住宅の理由で」と回答した方は22.3%と最も多く、続いて「生活環境上の理由で」(20.9%)、「両親や子どもの近くに住むため」(13.2%)の回答割合が高くなっています。

【鎌倉市の選択理由の把握(転入者調査)】

～なぜ鎌倉市を選んだのか？～

- 鎌倉市を選んだ理由としては「山並みなどの緑などの自然環境」(24.5%)の回答割合が高く、「町並みや街の雰囲気」「海のある自然環境」「住宅が用意されていたから」「住宅条件」「通勤・通学時間」を回答した方も20%を超えています。
- 横浜市から転入してきた回答者の理由は「住宅条件」「山並みや緑などの自然環境」「街並みや街の雰囲気」の回答割合が高くなっています。また東京特別区部からの転入者では「山並みや緑などの自然環境」「海のある自然環境」「街並みや街の雰囲気」が高い回答割合となっています。

【住宅の住み替えの評価(転入者調査)】

～鎌倉市に引っ越してきて良かった点とは？～

- 鎌倉市に転入してきた方では、「自然とのふれあいや外部空間のゆとり」を大変よくなったと感じている一方、「日常の買い物、医療などの利便」や「通勤、通学などの利便」が悪くなったと感じています。

【転出理由の把握(転出者調査)】

～なぜ鎌倉市から他のまちに引っ越したのか？～

- 転出の理由を、「生活環境上の理由で」と回答した方は20.0%となっています。続いて「仕事の理由で」「結婚のため」(ともに19.3%)、「転勤のため」(11.7%)の回答割合が高くなっています。

【転居先を選んだ理由(転出者調査)】

～引越先のまちを選んだ理由とは？～

- 鎌倉市から転居先を選んだ理由として、「通勤・通学時間」と回答した方が39.3%、「家賃・住宅価格」が29.7%となっています。
- 「住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)が24.8%、「最寄り駅へのアクセス」が21.4%で続いています。
- 横浜市へ転入した回答者の理由は「通勤・通学時間」「家賃・住宅価格」「住宅の条件」の回答割合が高くなっています。また東京特別区部への転出者では「通勤・通学時間」「都心へのアクセス」「最寄り駅へのアクセス」が高い回答割合となっています。

【住宅の住み替えの評価(転出者調査)】

～鎌倉市から他のまちに転居してよかった点とは？～

- 鎌倉市から転出した方では、「通勤、通学などの利便」は大変よくなったと感じている一方、「ローン、家賃などの住居費」が悪くなったと感じています。

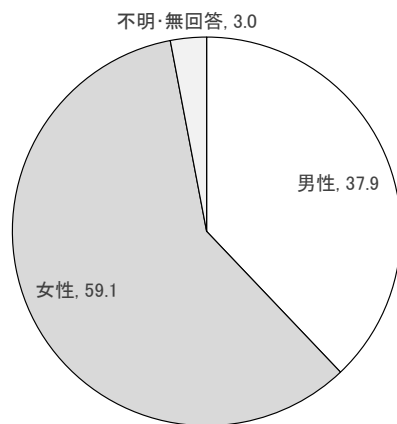
I. 市民対象調査

I. 市民対象調査

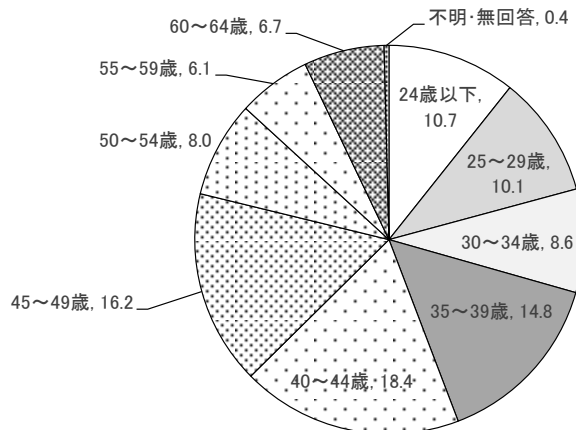
a-1. 属性

- 男女構成比は、「男性」37.9%、「女性」59.1%になっています。
- 年齢構成比では、40歳未満で45%程度、「40～44歳」18.4%、「45～49歳」16.2%、50歳以上で20%程度になっています。
- 居住地域構成比では、「鎌倉地域」24.4%、「大船地域」30.1%、「深沢地域」18.0%、「腰越地域」12.5%、「玉縄地域」14.9%となっています。

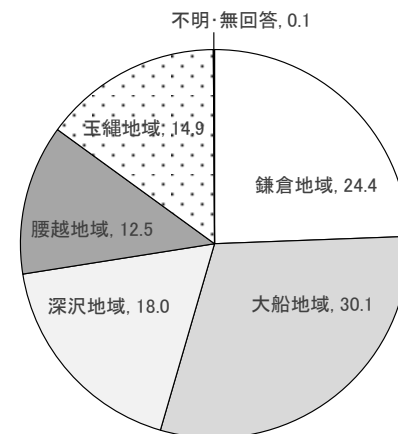
(n=899) 問1 性別



(n=899) 問2 年齢



(n=899) 問3 居住地域

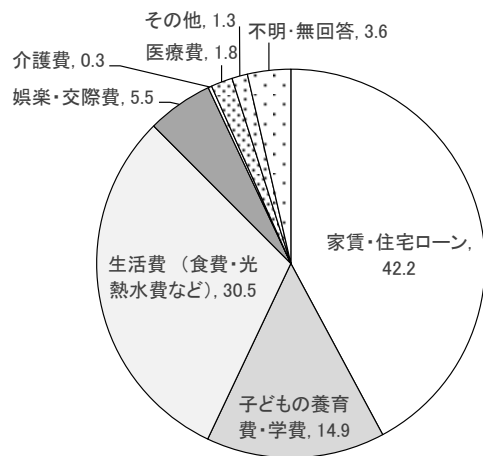


I. 市民対象調査

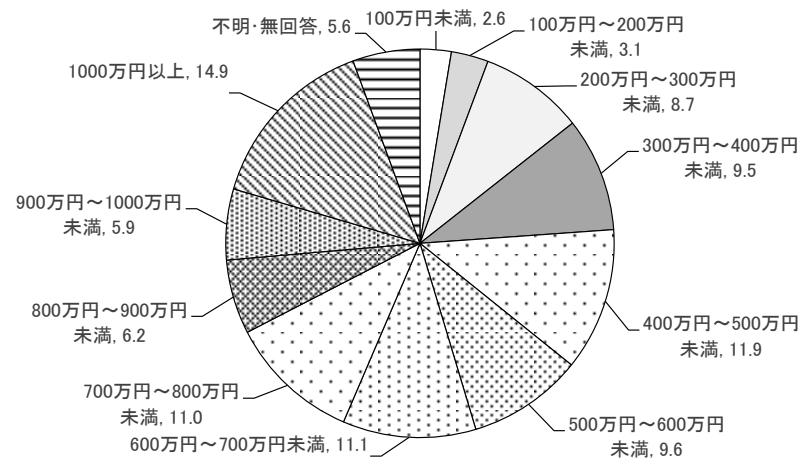
a-2. 属性

- 家計での経済的負担が大きい項目として「家賃・住宅ローン」と回答した方が42.2%、「生活費」と回答した方が30.5%、「子どもの養育費・学費」と回答した方が14.9%となっています。
- 回答者における世帯収入の総額(年間)として、「1000万円以上」が14.9%、「400万円～500万円未満」が11.9%、「600万円～700万円未満」が11.1%、「700万円～800万円未満」が11.0%となっています。

(n=899) 問12 家庭での経済的負担が大きい項目



(n=899) 問16 世帯の収入の総額(年間)

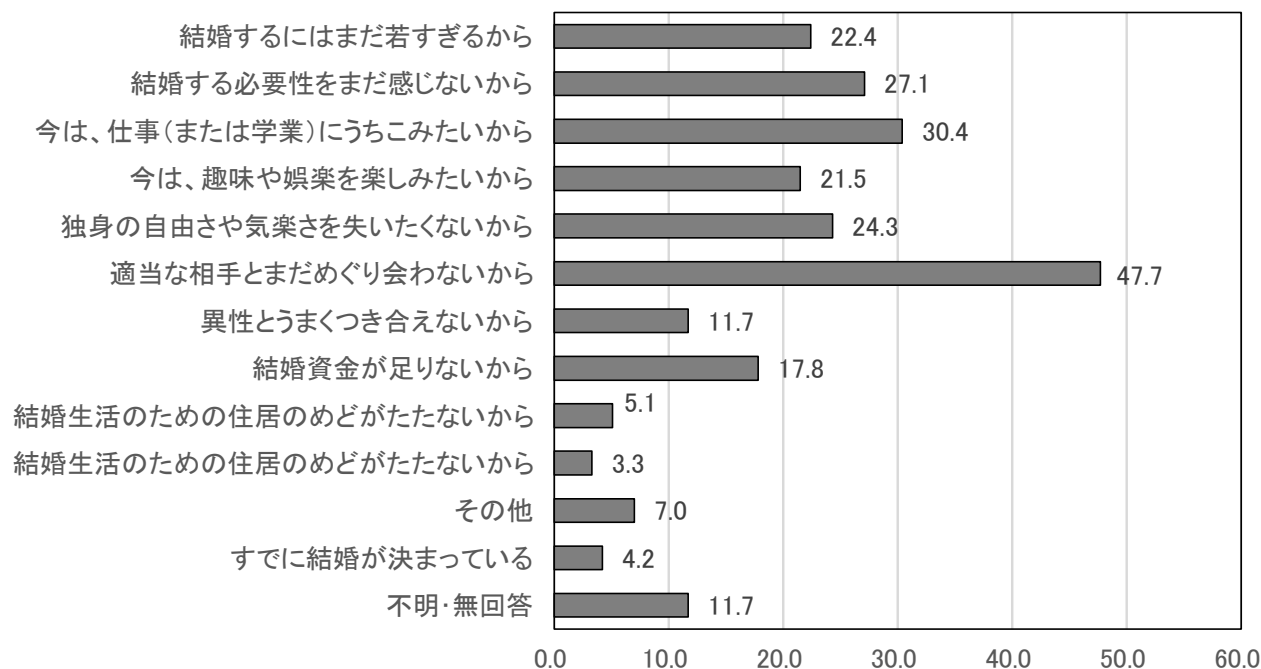


b-1. 晩婚化の要因の把握

- 独身でいる理由のうち、「適当な相手とまだめぐり合わないから」と回答した方が47.7%で最も多くなっています。
- 「今は、仕事(または学業)にうちこみたいから」30.4%、「結婚する必要性をまだ感じないから」27.1%、「結婚するにはまだ若すぎるから」25.2%が続いています。

(n=214)

問35 あなたが現在独身でいる理由



1. 市民対象調査

b-2. 晩婚化の要因の把握

- 男性をみると、「今は、仕事(または学業)にうちこみたいから」では「24歳以下」、「適当な相手とまだめぐり合わないから」では「30～34歳」、「結婚資金が足りないから」では「25～29歳」が高くなっている。
- 女性をみると、「結婚する必要性をまだ感じないから」では「45～49歳」、「今は、仕事(または学業)にうちこみたいから」では「24歳以下」、「適当な相手とまだめぐり合わないから」では「40～44歳」が高くなっている。

上段:度数	下段:%	*問35 あなたが現在独身でいる理由													
		合計	結婚するにはまだ若すぎるから	結婚する必要性をまだ感じないから	今は、仕事(または学業)にうちこみたいから	今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	適当な相手とまだめぐり合わないから	異性とうまくつき合えないから	結婚資金が足りないから	結婚生活のための住居のめどがたないから	その他	すでに結婚が決まっている	不明・無回答	
*年齢の項目	全体	91	19	24	27	21	24	44	12	29	6	4	5	3	6
		100.0	20.9	26.4	29.7	23.1	26.4	48.4	13.2	31.9	6.6	4.4	5.5	3.3	6.6
	24歳以下	33	15	12	18	7	-	11	3	9	2	2	1	-	3
		100.0	45.5	36.4	54.5	21.2	-	33.3	9.1	27.3	6.1	6.1	3.0	-	9.1
	25～29歳	21	4	1	5	4	5	8	4	13	3	1	1	2	1
		100.0	19.0	4.8	23.8	19.0	23.8	38.1	19.0	61.9	14.3	4.8	4.8	9.5	4.8
	30～34歳	8	-	2	-	5	6	6	1	2	-	-	1	-	-
		100.0	-	25.0	-	62.5	75.0	75.0	12.5	25.0	-	-	12.5	-	-
	35～39歳	9	-	5	-	1	4	5	-	2	-	-	-	-	1
	100.0	-	55.6	-	11.1	44.4	55.6	-	22.2	-	-	-	-	11.1	
40～44歳	13	-	2	3	2	5	10	2	2	1	1	1	-	1	
	100.0	-	15.4	23.1	15.4	38.5	76.9	15.4	15.4	7.7	7.7	7.7	-	7.7	
45～49歳	7	-	2	1	2	4	4	2	1	-	-	1	1	-	
	100.0	-	28.6	14.3	28.6	57.1	57.1	28.6	14.3	-	-	14.3	14.3	-	
不明・無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

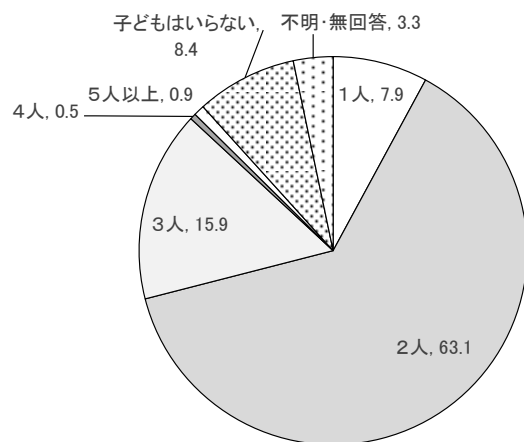
上段:度数	下段:%	*問35 あなたが現在独身でいる理由													
		合計	結婚するにはまだ若すぎるから	結婚する必要性をまだ感じないから	今は、仕事(または学業)にうちこみたいから	今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	適当な相手とまだめぐり合わないから	異性とうまくつき合えないから	結婚資金が足りないから	結婚生活のための住居のめどがたないから	その他	すでに結婚が決まっている	不明・無回答	
*年齢の項目	全体	114	28	32	37	24	25	51	10	8	5	3	9	6	19
		100.0	24.6	28.1	32.5	21.1	21.9	44.7	8.8	7.0	4.4	2.6	7.9	5.3	16.7
	24歳以下	48	25	20	24	8	9	18	2	2	2	2	1	-	5
		100.0	52.1	41.7	50.0	16.7	18.8	37.5	4.2	4.2	4.2	4.2	2.1	-	10.4
	25～29歳	21	1	3	6	4	4	9	3	4	1	1	1	1	6
		100.0	4.8	14.3	28.6	19.0	19.0	42.9	14.3	19.0	4.8	4.8	4.8	4.8	28.6
	30～34歳	15	1	4	2	9	2	8	2	1	2	-	1	2	2
		100.0	6.7	26.7	13.3	60.0	13.3	53.3	13.3	6.7	13.3	-	6.7	13.3	13.3
	35～39歳	10	1	-	3	1	2	5	-	-	-	-	2	2	1
	100.0	10.0	-	30.0	10.0	20.0	50.0	-	-	-	-	20.0	20.0	10.0	
40～44歳	12	-	1	-	2	5	7	2	1	-	-	2	-	4	
	100.0	-	8.3	-	16.7	41.7	58.3	16.7	8.3	-	-	16.7	-	33.3	
45～49歳	8	-	4	2	-	3	4	1	-	-	-	2	1	1	
	100.0	-	50.0	25.0	-	37.5	50.0	12.5	-	-	-	25.0	12.5	12.5	
不明・無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

I. 市民対象調査

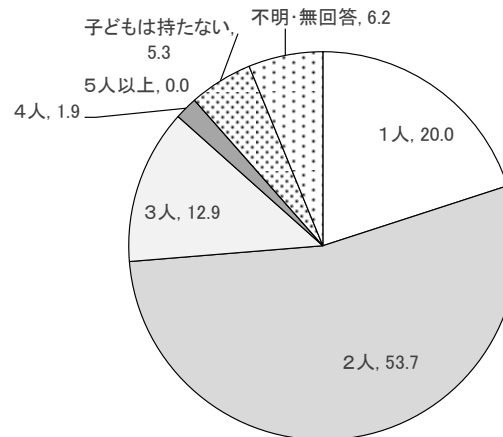
c-1. 希望の子どもの数

- 50歳未満の未婚者がほしい子どもの数として、「1人」と回答した方が7.9%、「2人」63.1%、「3人」15.9%となっています。
- 50歳未満の既婚者が予定の子どもの数として、「1人」と回答した方が20.0%、「2人」53.7%、「3人」12.9%となっています。

(n=214) 問37 ほしい子どもの数(50歳未満未婚)



(n=419) 問42 予定の子どもの数(50歳未満既婚)



I. 市民対象調査

c-2. 希望の子どもの数

- 男性をみると、「2人」では「30～34歳」、「3人」では「25～29歳」が高くなっている。
- 女性をみると、「2人」では「30～34歳」、「3人」では「45～49歳」が高くなっている。

上段:度数		問37 子どもは何人くらいほしいですか							
下段:%		合計	1人	2人	3人	4人	5人以上	子どもは いない	不明・無回答
*年齢の項目	全体	91 100.0	4 4.4	62 68.1	14 15.4	1 1.1	1 1.1	4 4.4	5 5.5
	24歳以下	33 100.0	2 6.1	22 66.7	5 15.2	1 3.0	1 3.0	1 3.0	1 3.0
	25～29歳	21 100.0	-	13 61.9	6 28.6	-	-	1 4.8	1 4.8
	30～34歳	8 100.0	-	8 100.0	-	-	-	-	-
	35～39歳	9 100.0	1 11.1	5 55.6	2 22.2	-	-	-	1 11.1
	40～44歳	13 100.0	1 7.7	8 61.5	1 7.7	-	-	1 7.7	2 15.4
	45～49歳	7 100.0	-	6 85.7	-	-	-	1 14.3	-
	不明・無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

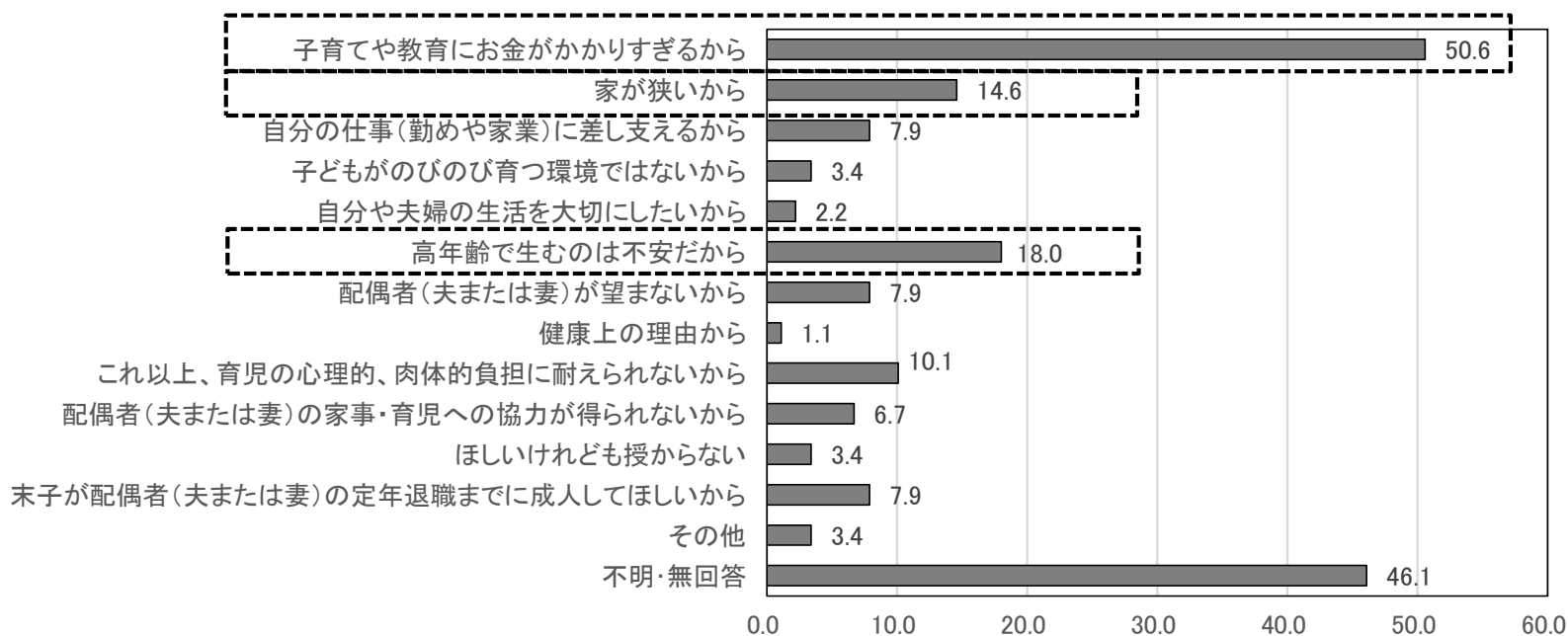
上段:度数		問37 子どもは何人くらいほしいですか							
下段:%		合計	1人	2人	3人	4人	5人以上	子どもは いない	不明・無回答
*年齢の項目	全体	114 100.0	11 9.6	67 58.8	20 17.5	-	1 0.9	13 11.4	2 1.8
	24歳以下	48 100.0	2 4.2	31 64.6	11 22.9	-	1 2.1	2 4.2	1 2.1
	25～29歳	21 100.0	3 14.3	13 61.9	5 23.8	-	-	-	-
	30～34歳	15 100.0	2 13.3	11 73.3	1 6.7	-	-	-	1 6.7
	35～39歳	10 100.0	2 20.0	7 70.0	1 10.0	-	-	-	-
	40～44歳	12 100.0	2 16.7	4 33.3	-	-	-	6 50.0	-
	45～49歳	8 100.0	-	1 12.5	2 25.0	-	-	5 62.5	-
	不明・無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

I. 市民対象調査

d-1. 出生率の低下の要因の把握

- 市民が持つご予定の子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない理由として「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」と回答した方は、50.6%となっています。
- 「高年齢で生むのは不安だから」の18.0%、「家が狭いから」の14.6%が続いています。

(n=89) 問44 持つご予定の子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないのはなぜですか



I. 市民対象調査

d-2. 出生率の低下の要因の把握

- 男性をみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」では「35～39歳」、「高齢で生むのは不安だから」では「40～44歳」が高くなっている。
- 女性をみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」と「家が狭いから」では「30～34歳」が高くなっている。

上段:度数		*問44 持つご予定の子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないのはなぜですか														
下段:%	合計	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	家が狭いから	自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	子どもがのびのび育つ環境ではないから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	高齢で生むのは不安だから	配偶者(夫または妻)が望まないから	健康上の理由から	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	配偶者(夫または妻)の家事・育児への協力が得られないから	ほしいけれども授からない	末子が配偶者(夫または妻)の定年退職までに成人してほしいから	その他	不明・無回答	
全体	22 100.0	15 68.2	1 4.5	2 9.1	1 4.5	1 4.5	4 18.2	2 9.1	-	1 4.5	1 4.5	-	1 4.5	-	7 31.8	
24歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
25～29歳	3 100.0	2 66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3	
30～34歳	5 100.0	3 60.0	-	1 20.0	-	-	1 20.0	-	-	-	-	-	-	-	2 40.0	
35～39歳	5 100.0	4 80.0	-	-	1 20.0	-	1 20.0	1 20.0	-	1 20.0	-	-	-	-	1 20.0	
40～44歳	4 100.0	3 75.0	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0	-	-	1 25.0	-	1 25.0	
45～49歳	5 100.0	3 60.0	-	-	-	-	1 20.0	-	-	-	-	-	-	-	2 40.0	
不明・無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

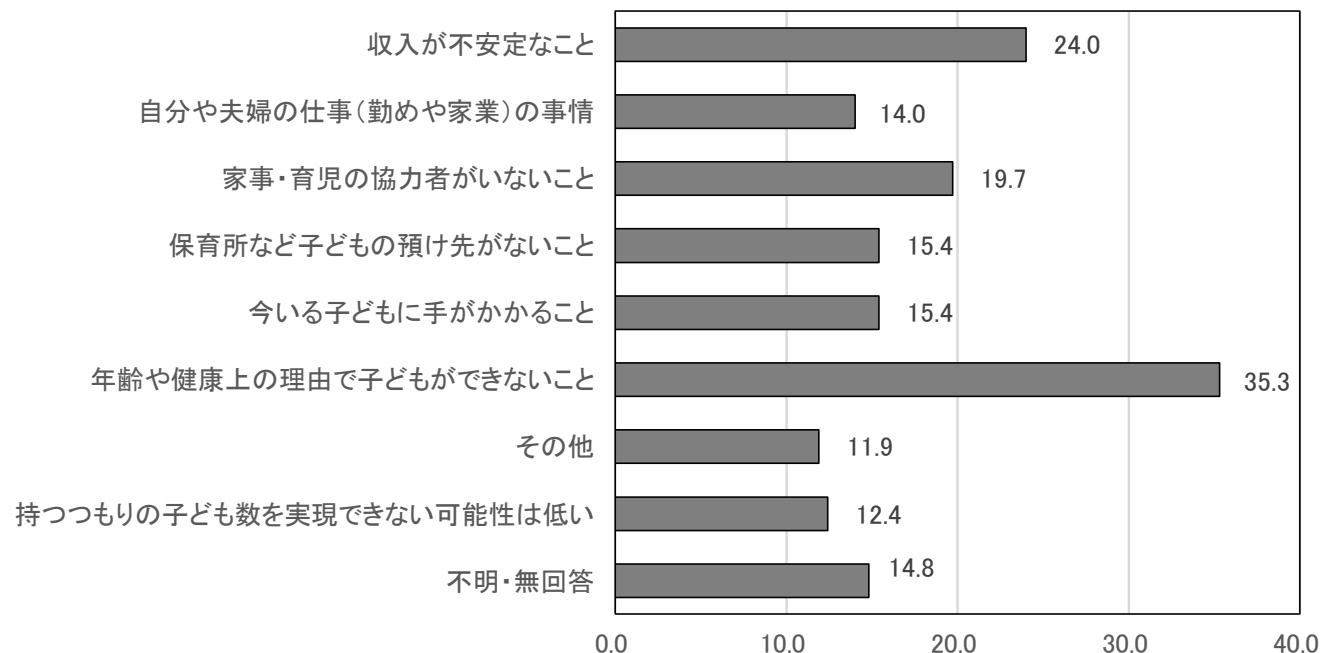
上段:度数		*問44 持つご予定の子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないのはなぜですか														
下段:%	合計	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	家が狭いから	自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	子どもがのびのび育つ環境ではないから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	高齢で生むのは不安だから	配偶者(夫または妻)が望まないから	健康上の理由から	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	配偶者(夫または妻)の家事・育児への協力が得られないから	ほしいけれども授からない	末子が配偶者(夫または妻)の定年退職までに成人してほしいから	その他	不明・無回答	
全体	66 100.0	29 43.9	11 16.7	5 7.6	2 3.0	1 1.5	11 16.7	4 6.1	1 1.5	8 12.1	5 7.6	3 4.5	5 7.6	3 4.5	34 51.5	
24歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
25～29歳	9 100.0	1 11.1	1 11.1	-	-	-	1 11.1	-	-	2 22.2	-	-	-	-	7 77.8	
30～34歳	14 100.0	9 64.3	6 42.9	1 7.1	1 7.1	-	-	2 14.3	-	3 21.4	-	-	2 14.3	1 7.1	5 35.7	
35～39歳	16 100.0	6 37.5	3 18.8	2 12.5	-	-	1 6.3	-	1 6.3	-	-	-	-	-	10 62.5	
40～44歳	15 100.0	7 46.7	1 6.7	2 13.3	-	-	6 40.0	-	-	3 20.0	2 13.3	2 13.3	2 13.3	1 6.7	6 40.0	
45～49歳	12 100.0	6 50.0	-	-	1 8.3	1 8.3	3 25.0	2 16.7	-	-	3 25.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3	6 50.0	
不明・無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

e-1. 「夫婦の出生力の低下」の背景となる要因把握

- 「今後もつおつもりのお子さんの数が、もし結果的に持てないことがあるとしたら、その原因は何である可能性が高いですか(MA)」との問いに対し、「年齢や健康上の理由で子どもができないこと」と回答した方が35.3%で最も多く、「収入が不安定なこと」24.0%と「家事・育児の協力者がいないこと」19.7%が続いています。

(n=371)

問43 追加の子どもを実現できない原因



I. 市民対象調査

e-2. 「夫婦の出生力の低下」の背景となる要因把握

- 男女別にみると、男女ともに「年齢や健康上の理由で子どもができないこと」では「40～44歳」が高くなっている。

男性		問43 今後持つおつもりのお子さんの数が、もし結果的に持てないことがあるとしたら、その原因は何である可能性が高いですか									
上段:度数	下段:%	合計	収入が不安定なこと	自分や夫婦の仕事(勤めや家業)の事情	家事・育児の協力がいないこと	保育所など子どもの預け先がないこと	今いる子どもに手がかること	年齢や健康上の理由で子どもができないこと	その他	持つつもりの子どもの数を実現できない可能性は低い	不明・無回答
*年齢の項目	全体	120 100.0	22 18.3	19 15.8	17 14.2	12 10.0	13 10.8	45 37.5	12 10.0	16 13.3	17 14.2
	24歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25～29歳	9 100.0	3 33.3	3 33.3	1 11.1	4 44.4	-	2 22.2	1 11.1	1 11.1	-
	30～34歳	12 100.0	5 41.7	1 8.3	2 16.7	1 8.3	1 8.3	7 58.3	-	2 16.7	-
	35～39歳	26 100.0	5 19.2	4 15.4	5 19.2	3 11.5	4 15.4	9 34.6	6 23.1	3 11.5	3 11.5
	40～44歳	35 100.0	4 11.4	6 17.1	4 11.4	2 5.7	4 11.4	15 42.9	2 5.7	6 17.1	5 14.3
	45～49歳	38 100.0	5 13.2	5 13.2	5 13.2	2 5.3	4 10.5	12 31.6	3 7.9	4 10.5	9 23.7
	不明・無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

女性		問43 今後持つおつもりのお子さんの数が、もし結果的に持てないことがあるとしたら、その原因は何である可能性が高いですか									
上段:度数	下段:%	合計	収入が不安定なこと	自分や夫婦の仕事(勤めや家業)の事情	家事・育児の協力がいないこと	保育所など子どもの預け先がないこと	今いる子どもに手がかること	年齢や健康上の理由で子どもができないこと	その他	持つつもりの子どもの数を実現できない可能性は低い	不明・無回答
*年齢の項目	全体	247 100.0	66 26.7	32 13.0	56 22.7	45 18.2	43 17.4	84 34.0	32 13.0	30 12.1	38 15.4
	24歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25～29歳	23 100.0	9 39.1	3 13.0	4 17.4	8 34.8	3 13.0	7 30.4	-	3 13.0	3 13.0
	30～34歳	28 100.0	14 50.0	7 25.0	8 28.6	7 25.0	6 21.4	9 32.1	5 17.9	-	-
	35～39歳	66 100.0	16 24.2	10 15.2	17 25.8	20 30.3	14 21.2	14 21.2	9 13.6	10 15.2	10 15.2
	40～44歳	76 100.0	15 19.7	8 10.5	17 22.4	7 9.2	12 15.8	30 39.5	9 11.8	8 10.5	17 22.4
	45～49歳	54 100.0	12 22.2	4 7.4	10 18.5	3 5.6	8 14.8	24 44.4	9 16.7	9 16.7	8 14.8
	不明・無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

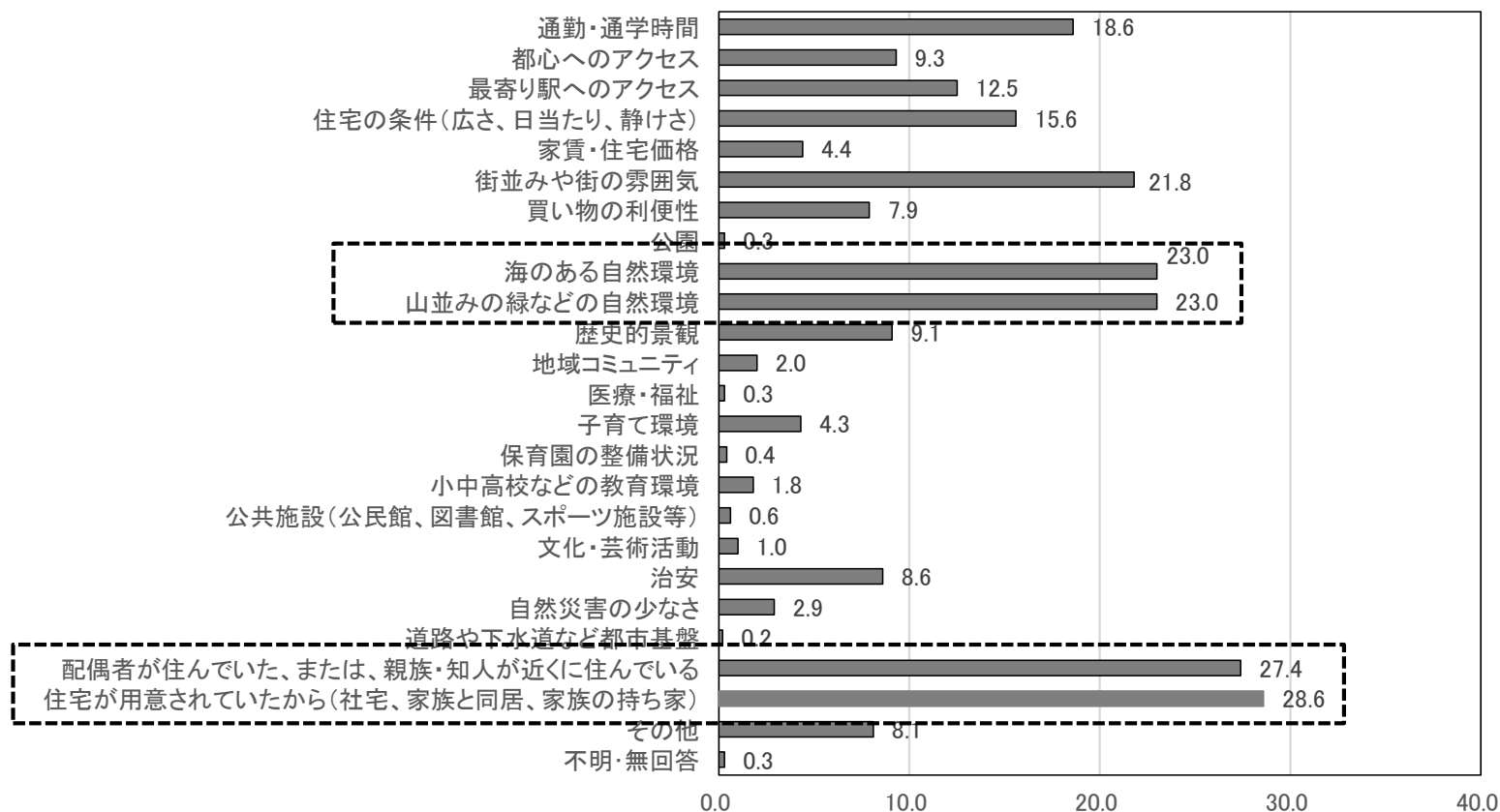
I. 市民対象調査

f-1. 鎌倉市における居住選択要因の把握

- 鎌倉市に住んでいる、または住み続けている理由として「住宅が用意されていたから」と回答した方が28.6%、「配偶者が住んでいた、または、親族・知人が住んでいる」が27.4%となっています。
- 「海のある自然環境」、「山並みの緑などの自然環境」と回答した方がそれぞれ23.0%となっています。

(n=899)

問20 あなたが現在鎌倉市に住んでいる、または住み続けている理由



1. 市民対象調査

f-2. 鎌倉市における居住選択要因の把握

- 男性をみると、「通勤・通学時間」では「25～29歳」、「配偶者が住んでいた、または、親族・知人が近くに住んでいる」では「55～59歳」、「住宅が用意されていたから(社宅、家族と同居、家族の持ち家)」では「24歳以下」が高くなっている。
- 女性をみると、「山並みの緑などの自然環境」では「60～64歳」、「配偶者が住んでいた、または、親族・知人が近くに住んでいる」では「45～49歳」、「住宅が用意されていたから(社宅、家族と同居、家族の持ち家)」では「24歳以下」が高くなっている。

上段: 度数		問20 あなたが現在鎌倉市に住んでいる、または住み続けている理由																								
下段: %	合計	通勤・通学時間	都心へのアクセス	最寄り駅へのアクセス	住宅の条件(広さ、自当たり、静けさ)	家賃・住宅価格	街並みや街の雰囲気	買い物の利便性	公園	海のある自然環境	山並みの緑などの自然環境	歴史的景観	地域コミュニティ	医療・福祉	子育て環境	保育園の整備状況	小中高校などの教育環境	公共施設(公民館、図書館、スポーツ施設等)	文化・芸術活動	治安	自然災害の少なさ	道路や下水道など都市基盤	配偶者が住んでいた、または、親族・知人が近くに住んでいる	住宅が用意されていたから(社宅、家族と同居、家族の持ち家)	その他	不明・無回答
24歳以下	39	-	1	4	-	2	4	1	-	5	2	3	-	-	1	-	1	-	-	3	1	-	3	29	4	-
25～29歳	40	19	2	5	6	6	6	1	-	2	4	-	1	-	-	-	1	-	-	3	-	-	8	18	2	-
30～34歳	23	7	3	1	5	1	5	-	-	4	2	3	-	2	-	-	1	-	-	7.5	-	-	20.0	45.0	5.0	-
35～39歳	44	7	3	7	8	3	10	1	-	10	11	4	-	-	6	-	-	-	-	7	1	-	10	12	3	-
40～44歳	54	19	6	8	8	2	16	7	-	11	10	2	1	-	4	-	3	-	-	10	1	1	13	10	3	-
45～49歳	100	35.2	14.8	11.1	14.8	3.7	29.6	13.0	-	20.4	18.5	3.7	1.9	-	7.4	-	5.6	-	1.9	7.4	1.9	1.9	24.1	18.5	5.6	-
50～54歳	24	3	2	5	5	4	4	1	-	7	3	2	-	1	-	-	1	-	1	2	-	-	17	8	3	-
55～59歳	27	4	2	4	2	-	4	1	-	6	6	4	1	-	1	-	-	-	4.2	-	3	-	16.7	25.0	12.5	4.2
60～64歳	27	3	3	3	4	1	4	3	-	6	9	3	1	-	3.7	-	-	-	-	11.1	-	2	7	8	3	1
不明・無回答	3	2	1	1	1	1	1	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-

上段: 度数		問20 あなたが現在鎌倉市に住んでいる、または住み続けている理由																								
下段: %	合計	通勤・通学時間	都心へのアクセス	最寄り駅へのアクセス	住宅の条件(広さ、自当たり、静けさ)	家賃・住宅価格	街並みや街の雰囲気	買い物の利便性	公園	海のある自然環境	山並みの緑などの自然環境	歴史的景観	地域コミュニティ	医療・福祉	子育て環境	保育園の整備状況	小中高校などの教育環境	公共施設(公民館、図書館、スポーツ施設等)	文化・芸術活動	治安	自然災害の少なさ	道路や下水道など都市基盤	配偶者が住んでいた、または、親族・知人が近くに住んでいる	住宅が用意されていたから(社宅、家族と同居、家族の持ち家)	その他	不明・無回答
24歳以下	56	10	4	6	3	1	9	2	-	13	6	2	-	-	-	-	-	-	-	12	1	-	6	36	3	-
25～29歳	100	17.8	7.1	10.7	5.4	1.8	13.1	3.6	-	22.2	13.1	3.6	-	-	-	-	-	-	-	14	1.8	-	13.7	64.3	5.4	-
30～34歳	49	5	5	5	2	14	5	1	-	4	9	4	-	-	1	1	1	-	-	1	4	-	14	14	2	-
35～39歳	50	7	9	3	4	3	13	6	-	10	7	6	-	-	-	-	1	-	-	3	-	-	18	21	6	-
40～44歳	100	14.0	18.0	6.0	8.0	6.0	26.0	12.0	-	20.0	14.0	12.0	-	-	-	-	2.0	-	-	6.0	-	-	36.0	42.0	12.0	-
45～49歳	86	16	6	10	17	1	26	6	-	30	26	10	4	-	9	1	-	-	-	8	1	-	32	12	6	-
50～54歳	100	18.6	7.0	11.6	19.8	1.2	30.2	7.0	-	34.9	30.2	11.6	4.7	-	10.5	1.2	-	-	-	8.1	1.2	-	37.2	14.0	7.0	-
55～59歳	26	3	1	13	13	24	10	1	-	22	24	9	2	1	9	-	1	1	1	31	2	1	9	5	3	-
60～64歳	100	23.4	12.1	12.1	12.1	7.5	19.6	9.3	0.9	22.4	29.0	8.4	1.9	0.9	8.4	-	0.9	0.9	1.9	8.4	4.7	0.9	34.6	16.8	5.6	-
不明・無回答	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17.2	48.3	3.4	-

1. 市民対象調査

f-3. 鎌倉市における居住選択要因の把握

- 男性をみると、「交通の便がよいこと」では「24歳以下」、「緑や水辺空間などの自然環境の保全・創出」では「40～44歳」、「安全・安心な生活環境の点で不安や問題がないこと」では「45～49歳」が高くなっている。
- 女性をみると、「交通の便がよいこと」では「24歳以下」、「子育てしやすい環境(保育所など小学校就学前の環境)」では「25～29歳」、「安全・安心な生活環境の点で不安や問題がないこと」では「55～59歳」が高くなっている。

上段度数		問21 あなたと同世代の多くの人にとって、鎌倉市に住みたいと思えるまちになるためには、どのような点が満たされるべきだと思いますか														
下段%	合計	魅力的な施設が十分にあること	雇用が十分にあること	住宅用地が十分にあること	土地や住宅が取得しやすい価格であること	交通の便がよいこと	医療や介護の問題	子育てしやすい環境(保育所など小学校就学前の環境)	小中学校教育の充実	高校教育の充実	地域とのつながり、近所関係	緑や水辺空間などの自然環境の保全・創出	買い物や趣味、娯楽を楽しむ場所が十分にあること	安全・安心な生活環境の点で不安や問題がないこと	その他	不明・無回答
	全体	341	45	60	11	94	102	82	99	30	6	25	105	99	145	31
	100.0	13.2	17.6	3.2	27.6	29.9	24.0	29.0	8.8	1.8	7.3	30.8	29.0	42.5	9.1	0.9
24歳以下	39	5	7	-	-	19	1	5	2	-	1	13	22	9	4	1
	100.0	12.8	17.9	-	-	48.7	2.6	12.8	5.1	-	2.6	33.3	56.4	23.1	10.3	2.6
25～29歳	40	9	11	4	12	18	5	9	-	-	2	6	12	16	4	-
	100.0	22.5	27.5	10.0	30.0	45.0	12.5	22.5	-	-	5.0	15.0	30.0	40.0	10.0	-
30～34歳	23	4	5	-	10	5	3	5	4	-	1	8	10	7	2	-
	100.0	17.4	21.7	-	43.5	21.7	13.0	21.7	17.4	-	4.3	34.8	43.5	30.4	8.7	-
35～39歳	44	5	6	1	14	10	10	24	8	1	4	13	8	21	4	-
	100.0	11.4	13.6	2.3	31.8	22.7	22.7	54.5	18.2	2.3	9.1	29.5	18.2	47.7	9.1	-
40～44歳	54	5	7	4	16	13	11	25	6	-	5	19	10	25	4	-
	100.0	9.3	13.0	7.4	29.6	24.1	20.4	46.3	11.1	-	9.3	35.2	18.5	46.3	7.4	-
45～49歳	60	5	10	1	16	17	19	19	7	2	3	19	12	29	8	-
	100.0	8.3	16.7	1.7	26.7	28.3	31.7	31.7	11.7	3.3	5.0	31.7	20.0	48.3	13.3	-
50～54歳	24	5	4	1	9	5	7	4	1	1	1	8	7	9	3	1
	100.0	20.8	16.7	4.2	37.5	20.8	29.2	16.7	4.2	4.2	4.2	33.3	29.2	37.5	12.5	4.2
55～59歳	27	3	6	-	5	10	10	4	1	-	3	9	10	7	1	-
	100.0	11.1	22.2	-	18.5	37.0	37.0	14.8	3.7	-	11.1	33.3	37.0	25.9	3.7	-
60～64歳	27	4	3	-	3	5	15	3	-	-	5	8	7	20	1	1
	100.0	14.8	11.1	-	11.1	18.5	55.6	11.1	-	-	18.5	29.6	25.9	74.1	3.7	3.7
不明・無回答	3	-	1	-	-	-	1	1	1	-	-	2	1	2	-	-
	100.0	-	33.3	-	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-	66.7	33.3	66.7	-	-

上段度数		問21 あなたと同世代の多くの人にとって、鎌倉市に住みたいと思えるまちになるためには、どのような点が満たされるべきだと思いますか														
下段%	合計	魅力的な施設が十分にあること	雇用が十分にあること	住宅用地が十分にあること	土地や住宅が取得しやすい価格であること	交通の便がよいこと	医療や介護の問題	子育てしやすい環境(保育所など小学校就学前の環境)	小中学校教育の充実	高校教育の充実	地域とのつながり、近所関係	緑や水辺空間などの自然環境の保全・創出	買い物や趣味、娯楽を楽しむ場所が十分にあること	安全・安心な生活環境の点で不安や問題がないこと	その他	不明・無回答
	全体	531	71	72	15	146	160	147	217	72	15	35	142	118	225	45
	100.0	13.4	13.6	2.8	27.5	30.1	27.7	40.9	13.6	2.8	6.6	26.7	22.2	42.4	8.5	0.4
24歳以下	56	13	3	-	14	30	11	15	2	1	7	16	16	22	2	-
	100.0	23.2	5.4	-	25.0	53.6	19.6	26.8	3.6	1.8	12.5	28.6	28.6	39.3	3.6	-
25～29歳	49	7	5	1	17	11	9	33	6	-	2	10	14	16	2	-
	100.0	14.3	10.2	2.0	34.7	22.4	18.4	67.2	12.2	-	4.1	20.4	28.6	32.7	4.1	-
30～34歳	50	7	10	2	18	8	8	29	7	-	2	12	17	18	2	-
	100.0	14.0	20.0	4.0	36.0	18.0	14.0	58.0	26.0	-	4.0	24.0	34.0	36.0	4.0	-
35～39歳	86	14	15	1	24	23	15	57	18	-	5	23	14	28	10	-
	100.0	16.3	17.4	1.2	27.9	26.7	17.4	66.3	18.6	-	5.8	26.7	16.3	32.6	11.6	-
40～44歳	107	11	17	7	37	34	23	44	21	7	6	17	22	44	12	-
	100.0	10.3	15.9	6.5	34.6	31.8	21.5	41.1	19.6	6.5	5.6	15.9	20.6	41.1	11.2	-
45～49歳	81	8	11	1	16	25	23	21	7	6	1	29	17	41	10	1
	100.0	9.8	13.6	1.2	19.8	30.9	40.7	25.9	8.6	7.4	1.2	35.8	21.0	50.6	12.3	1.2
50～54歳	46	6	6	2	12	13	18	9	4	-	4	17	12	22	2	1
	100.0	13.0	13.0	4.3	26.1	28.3	39.1	19.6	8.7	-	8.7	37.0	26.1	47.8	4.3	2.2
55～59歳	26	4	3	-	5	7	11	4	2	1	4	7	7	16	3	-
	100.0	15.4	11.5	-	19.2	26.9	42.3	15.4	7.7	3.8	15.4	26.9	26.9	61.5	11.5	-
60～64歳	29	1	1	1	3	8	20	4	1	-	4	11	9	17	2	-
	100.0	3.4	3.4	3.4	10.3	27.6	69.0	13.8	3.4	-	13.8	37.9	31.0	58.6	6.9	-
不明・無回答	11	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-

I. 市民対象調査

f-4. 鎌倉市における居住選択要因の把握

- 世帯収入別にみると、「海のある自然環境」と「山並みの緑などの自然環境」では「800万円以上」、「配偶者が住んでいた、または、親族・知人が近くに住んでいる」では「400万円～600万円未満」、「住宅が用意されていたから(社宅、家族と同居、家族の持ち家)」では「400万円未満」が高くなっている。

上段:度数		問20 あなたが現在鎌倉市に住んでいる、または住み続けている理由													
下段:%		合計	通勤・通学時間	都心へのアクセス	最寄り駅へのアクセス	住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)	家賃・住宅価格	街並みや街の雰囲気	買い物の利便性	公園	海のある自然環境	山並みの緑などの自然環境	歴史的景観	地域コミュニティ	医療・福祉
問16(1) 世帯の収入の総額(年間)	全体	899 100.0	167 18.6	84 9.3	112 12.5	140 15.6	40 4.4	196 21.8	71 7.9	3 0.3	207 23.0	207 23.0	82 9.1	18 2.0	3 0.3
	400万円未満	214 23.8	46 27.5	25 29.8	26 23.2	31 22.1	16 40.0	47 24.0	21 29.6	1 33.3	52 25.1	42 20.3	18 22.0	7 38.9	2 66.7
	400万円～600万円未満	193 21.5	38 22.8	18 21.4	28 25.0	29 20.7	9 22.5	37 18.9	20 28.2	1 33.3	44 21.3	31 15.0	19 23.2	3 16.7	1 33.3
	600万円～800万円未満	199 22.1	34 20.4	16 19.0	20 17.9	37 26.4	8 20.0	51 26.0	16 22.5	-	40 19.3	54 26.1	19 23.2	1 5.6	-
	800万円以上	243 27.0	42 25.1	22 26.2	34 30.4	36 25.7	7 17.5	56 28.6	10 14.1	1 33.3	60 29.0	73 35.3	23 28.0	6 33.3	-
	不明・無回答	50 5.6	7 4.2	3 3.6	4 3.6	7 5.0	-	5 2.6	4 5.6	-	11 5.3	7 3.4	3 3.7	1 5.6	-
	上段:度数 下段:%	合計	子育て環境	保育園の整備状況	小中高校などの教育環境	公共施設(公民館、図書館、スポーツ施設等)	文化・芸術活動	治安	自然災害の少なさ	道路や下水道など都市基盤	配偶者が住んでいた、または、親族・知人が近くに住んでいる	住宅が用意されていたから(社宅、家族と同居、家族の持ち家)	その他	不明・無回答	
	全体	899 100.0	39 4.3	4 0.4	16 1.8	5 0.6	9 1.0	77 8.6	26 2.9	2 0.2	246 27.4	257 28.6	73 8.1	3 0.3	
	400万円未満	214 23.8	8 20.5	-	3 18.8	3 60.0	3 33.3	21 27.3	9 34.6	-	46 18.7	63 24.5	16 21.9	-	
	400万円～600万円未満	193 21.5	6 15.4	3 75.0	2 12.5	1 20.0	3 33.3	17 22.1	5 19.2	-	66 26.8	56 21.8	16 21.9	-	
	600万円～800万円未満	199 22.1	11 28.2	-	5 31.3	1 20.0	2 22.2	18 23.4	8 30.8	1 50.0	65 26.4	42 16.3	16 21.9	1 33.3	
	800万円以上	243 27.0	13 33.3	1 25.0	6 37.5	-	-	17 22.1	3 11.5	-	60 24.4	72 28.0	22 30.1	1 33.3	
	不明・無回答	50 5.6	1 2.6	-	-	-	1 11.1	4 5.2	1 3.8	1 50.0	9 3.7	24 9.3	3 4.1	1 33.3	

I. 市民対象調査

f-5. 鎌倉市における居住選択要因の把握

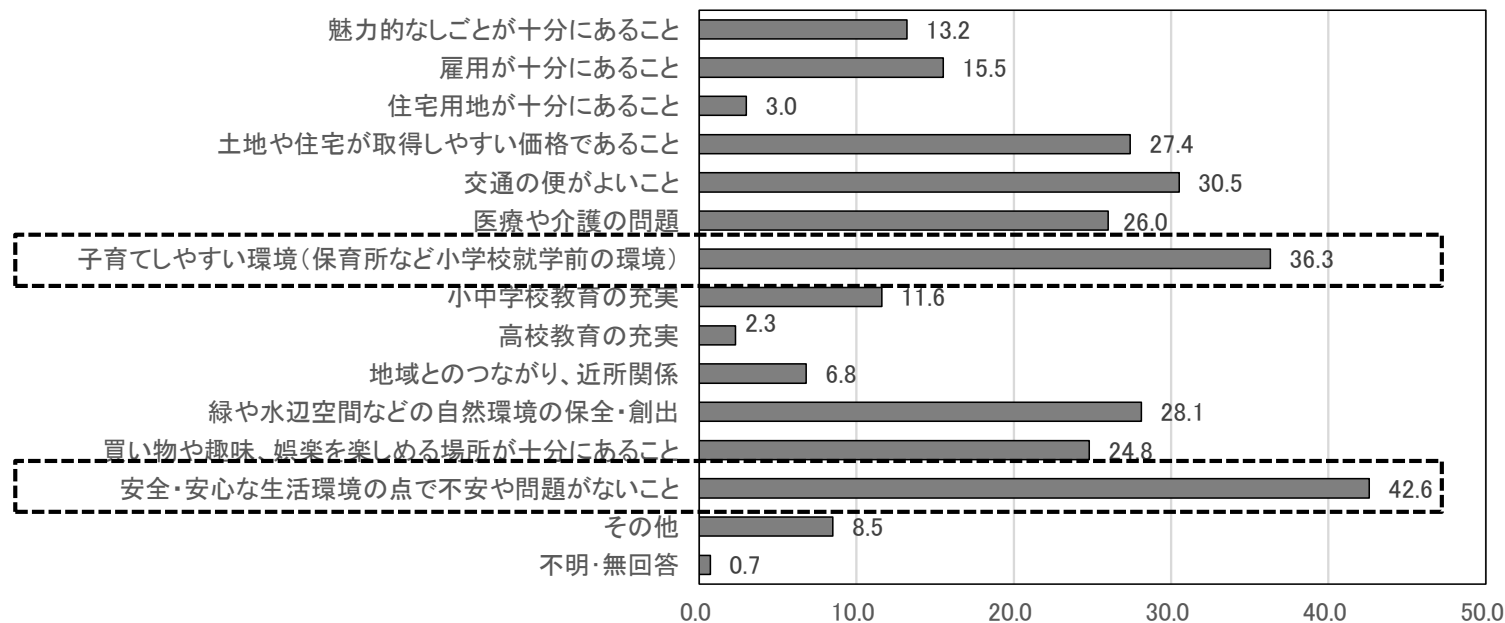
- 地域別にみると、「海のある自然環境」では「腰越地域」、「山並みの緑などの自然環境」では「鎌倉地域」、「配偶者が住んでいた、または、親族・知人が近くに住んでいる」では「深沢地域」、「住宅が用意されていたから」では「腰越地域」と「玉縄地域」が高くなっている。

上段:度数		問20 あなたが現在鎌倉市に住んでいる、または住み続けている理由														
下段:%		合計	通勤・通学時間	都心へのアクセス	最寄り駅へのアクセス	住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)	家賃・住宅価格	街並みや街の雰囲気	買い物の利便性	公園	海のある自然環境	山並みの緑などの自然環境	歴史的景観	地域コミュニティ	医療・福祉	
問3 居住地域	全体	899	167	84	112	140	40	196	71	3	207	207	82	18	3	
		100.0	18.6	9.3	12.5	15.6	4.4	21.8	7.9	0.3	23.0	23.0	9.1	2.0	0.3	
	鎌倉地域	219	24	9	12	25	5	67	2	-	85	69	31	9	1	
		100.0	11.0	4.1	5.5	11.4	2.3	30.6	0.9	-	38.8	31.5	14.2	4.1	0.5	
	大船地域	271	58	41	49	39	17	62	41	-	28	50	25	3	1	
		100.0	21.4	15.1	18.1	14.4	6.3	22.9	15.1	-	10.3	18.5	9.2	1.1	0.4	
	深沢地域	162	36	12	15	24	6	22	12	3	31	36	10	1	1	
		100.0	22.2	7.4	9.3	14.8	3.7	13.6	7.4	1.9	19.1	22.2	6.2	0.6	0.6	
	腰越地域	112	20	-	11	22	1	22	3	-	49	29	6	3	-	
		100.0	17.9	-	9.8	19.6	0.9	19.6	2.7	-	43.8	25.9	5.4	2.7	-	
	玉縄地域	134	29	22	25	30	11	23	13	-	14	23	10	2	-	
		100.0	21.6	16.4	18.7	22.4	8.2	17.2	9.7	-	10.4	17.2	7.5	1.5	-	
	不明・無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	子育て環境	保育園の整備状況	小中高校などの教育環境	公共施設(公民館、図書館、スポーツ施設等)	文化・芸術活動	治安	自然災害の少なさ	道路や下水道など都市基盤	配偶者が住んでいた、または、親族・知人が近くに住んでいる	住宅が用意されていたから(社宅、家族と同居、家族の持ち家)	その他	不明・無回答			
全体	899	39	4	16	5	9	77	26	2	246	257	73	3			
	100.0	4.3	0.4	1.8	0.6	1.0	8.6	2.9	0.2	27.4	28.6	8.1	0.3			
鎌倉地域	219	19	-	6	1	-	25	2	-	64	63	15	1			
	100.0	8.7	-	2.7	0.5	-	11.4	0.9	-	29.2	28.8	6.8	0.5			
大船地域	271	7	-	3	2	5	22	9	2	70	67	28	1			
	100.0	2.6	-	1.1	0.7	1.8	8.1	3.3	0.7	25.8	24.7	10.3	0.4			
深沢地域	162	7	3	-	-	1	15	10	-	49	49	9	-			
	100.0	4.3	1.9	-	-	0.6	9.3	6.2	-	30.2	30.2	5.6	-			
腰越地域	112	4	-	3	2	3	10	1	-	29	35	7	-			
	100.0	3.6	-	2.7	1.8	2.7	8.9	0.9	-	25.9	31.3	6.3	-			
玉縄地域	134	2	1	4	-	-	5	4	-	34	42	14	1			
	100.0	1.5	0.7	3.0	-	-	3.7	3.0	-	25.4	31.3	10.4	0.7			
不明・無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-			
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-			

f-6. 居住継続に向けて必要な取組の把握

- 鎌倉市に住みたいと思えるために必要なこととして、「安全・安心な生活環境の点で不安や問題がないこと」が42.6%、「子育てしやすい環境(保育所など小学校就学前の環境)」が36.3%となっています。

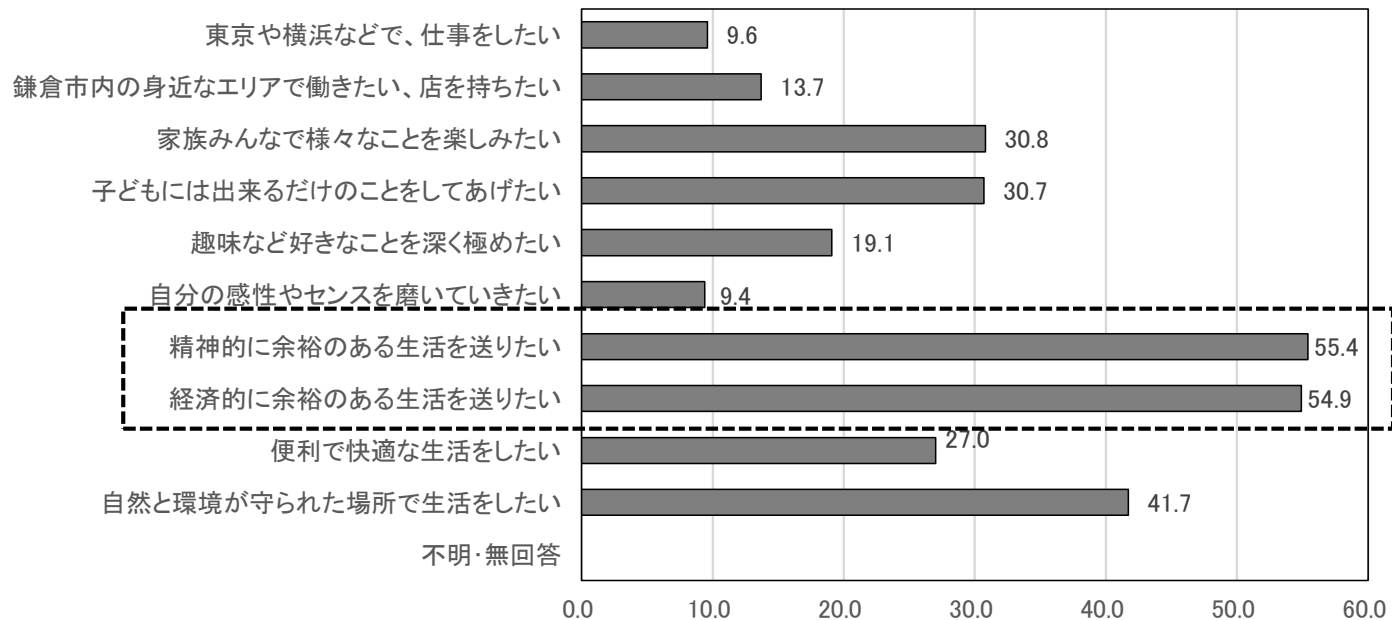
(n=899) 問21 鎌倉市に住みたいと思えるまちになるためには、どのような点が満たされるべきか



g-1. 鎌倉市で暮らしたいライフスタイル

- 生活全般について、鎌倉市でのように暮らしたいかとの問いに対し、「精神的に余裕のある生活を送りたい」、「経済的に余裕のある生活を送りたい」と回答した方が55.4%、54.9%と半数以上を占めています。
- 「自然と環境が守られた場所で生活をしたい」41.7%、「家族みんなで様々なことを楽しみたい」30.8%、「子どもには出来るだけのことをしてあげたい」30.7%が続いています。

(n=899) 問30 生活全般について、鎌倉市でどのように暮らしていきたいですか。



I. 市民対象調査

g-2. 鎌倉市で暮らしたいライフスタイル

- 男性をみると、「精神的に余裕のある生活を送りたい」と「経済的に余裕のある生活を送りたい」では「25～29歳」、「自然と環境が守られた場所で生活したい」では「60～64歳」が高くなっている。

上段:度数 下段:%		*問30 生活全般について、鎌倉市でどのように暮らしていきたいですか生活全般について、鎌倉市でどのように暮らしていきたいですか												
		合計	東京や横浜などで、仕事をしたい	鎌倉市内の身近なエリアで働きたい、店を持ちたい	家族みんなで様々なことを楽しみたい	子どもには出来るだけのことをしてあげたい	趣味など好きなことを深く極めたい	自分の感性やセンスを磨いていきたい	精神的に余裕のある生活を送りたい	経済的に余裕のある生活を送りたい	便利で快適な生活をしたい	自然と環境が守られた場所で生活したい	不明・無回答	
*年齢の項目	全体	341 100.0	41 12.0	43 12.6	97 28.4	93 27.3	81 23.8	32 9.4	178 52.2	201 58.9	105 30.8	124 36.4	6 1.8	
	24歳以下	39 100.0	12 30.8	8 20.5	5 12.8	2 5.1	15 38.5	7 17.9	21 53.8	23 59.0	10 25.6	11 28.2	1 2.6	
	25～29歳	40 100.0	3 7.5	4 10.0	7 17.5	5 12.5	11 27.5	5 12.5	26 65.0	24 60.0	17 42.5	10 25.0	2 5.0	
	30～34歳	23 100.0	3 13.0	3 13.0	8 34.8	7 30.4	2 8.7	-	12 52.2	14 60.9	12 52.2	8 34.8	-	
	35～39歳	44 100.0	9 20.5	6 13.6	17 38.6	20 45.5	6 13.6	4 9.1	12 27.3	26 59.1	12 27.3	18 40.9	-	
	40～44歳	54 100.0	4 7.4	10 18.5	24 44.4	27 50.0	9 16.7	5 9.3	21 38.9	33 61.1	12 22.2	17 31.5	-	
	45～49歳	60 100.0	5 8.3	4 6.7	18 30.0	17 28.3	13 21.7	3 5.0	35 58.3	34 56.7	11 18.3	29 48.3	2 3.3	
	50～54歳	24 100.0	2 8.3	2 8.3	6 25.0	5 20.8	8 33.3	3 12.5	14 58.3	11 45.8	13 54.2	5 20.8	1 4.2	
	55～59歳	27 100.0	1 3.7	4 14.8	3 11.1	4 14.8	6 22.2	4 14.8	18 66.7	20 74.1	10 37.0	11 40.7	-	
	60～64歳	27 100.0	2 7.4	1 3.7	8 29.6	5 18.5	10 37.0	1 3.7	17 63.0	16 59.3	6 22.2	14 51.9	-	
	不明・無回答	3 100.0	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	2 66.7	-	2 66.7	1 33.3	-	

I. 市民対象調査

g-3. 鎌倉市で暮らしたいライフスタイル

- 女性をみると、「精神的に余裕のある生活を送りたい」と「経済的に余裕のある生活を送りたい」では「50～54歳」、「自然と環境が守られた場所で生活をしたい」では「60～64歳」が高くなっている。

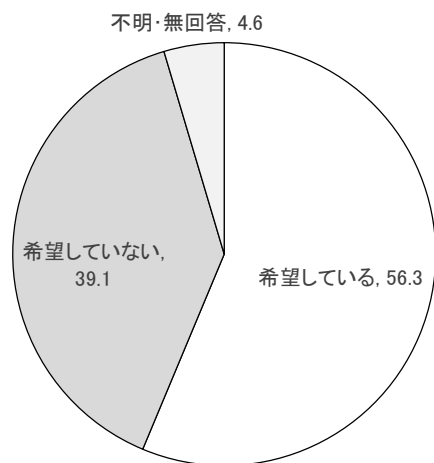
上段:度数 下段:%		*問30 生活全般について、鎌倉市でどのように暮らしていきたいですか											
		合計	東京や横浜などで、仕事をしたい	鎌倉市内の身近なエリアで働きたい、店を持ちたい	家族みんなで様々なことを楽しみたい	子どもには出来るだけのことをしてあげたい	趣味など好きなことを深く極めたい	自分の感性やセンスを磨いていきたい	精神的に余裕のある生活を送りたい	経済的に余裕のある生活を送りたい	便利で快適な生活をした	自然と環境が守られた場所で生活をしたい	不明・無回答
*年齢の項目	全体	531 100.0	44 8.3	75 14.1	175 33.0	179 33.7	84 15.8	52 9.8	304 57.3	276 52.0	127 23.9	238 44.8	9 1.7
	24歳以下	56 100.0	14 25.0	2 3.6	17 30.4	4 7.1	14 25.0	7 12.5	36 64.3	33 58.9	17 30.4	20 35.7	1 1.8
	25～29歳	49 100.0	4 8.2	5 10.2	22 44.9	15 30.6	10 20.4	7 14.3	28 57.1	25 51.0	13 26.5	17 34.7	-
	30～34歳	50 100.0	5 10.0	13 26.0	20 40.0	16 32.0	7 14.0	2 4.0	31 62.0	25 50.0	9 18.0	19 38.0	1 2.0
	35～39歳	86 100.0	6 7.0	21 24.4	42 48.8	48 55.8	8 9.3	7 8.1	32 37.2	36 41.9	16 18.6	40 46.5	-
	40～44歳	107 100.0	9 8.4	15 14.0	36 33.6	47 43.9	9 8.4	10 9.3	65 60.7	53 49.5	30 28.0	40 37.4	1 0.9
	45～49歳	81 100.0	-	10 12.3	24 29.6	32 39.5	10 12.3	4 4.9	52 64.2	42 51.9	18 22.2	40 49.4	3 3.7
	50～54歳	46 100.0	4 8.7	4 8.7	5 10.9	10 21.7	14 30.4	3 6.5	31 67.4	30 65.2	11 23.9	24 52.2	-
	55～59歳	26 100.0	2 7.7	2 7.7	5 19.2	3 11.5	7 26.9	6 23.1	12 46.2	16 61.5	8 30.8	14 53.8	1 3.8
	60～64歳	29 100.0	-	3 10.3	4 13.8	4 13.8	4 13.8	6 20.7	16 55.2	16 55.2	5 17.2	23 79.3	2 6.9
	不明・無回答	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-	1 100.0	-	-	1 100.0	-

I. 市民対象調査

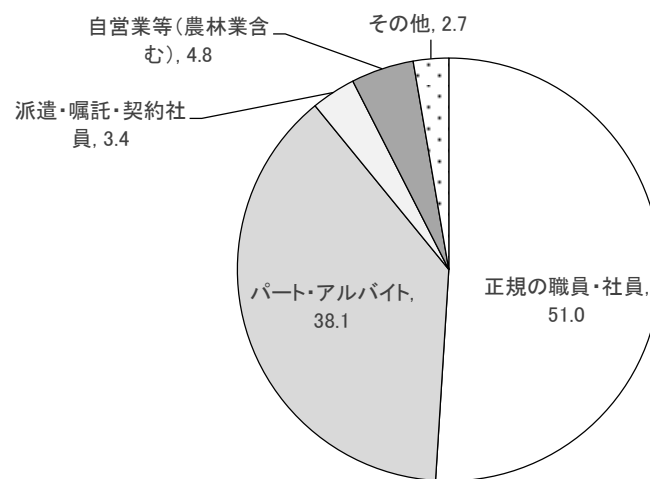
h-1. 学生・専業主婦・主夫・無職の就労意向

- 学生・専業主婦・主夫・無職の方のうち、「就労を希望している」と回答した方は56.3%となります。
- 「就労を希望している」と回答した方のうち、働きたい就労形態として「正規の職員・社員」と回答した方は51.0%、「パート・アルバイト」と回答した方が38.1%となります。

(n=261)問26 あなたは現在(又は卒業後)、就職を希望していますか (n=147)



問27(1) どのような形態で働きたいと思いますか



I. 市民対象調査

h-2. 学生・専業主婦・主夫・無職の就労意向

左表: 男性

右表: 女性

- 男性をみると、「希望している」では「24歳以下」が高くなっている。
- 女性をみると、「希望している」では「24歳以下」や「35～39歳」が高くなっている。

上段:度数 下段:%		問26 あなたは現在(又は卒業後)、就職を希望していますか			
		合計	希望している	希望していない	不明・無回答
*年齢の項目	全体	44 100.0	32 72.7	10 22.7	2 4.5
	24歳以下	27 100.0	26 96.3	-	1 3.7
	25～29歳	5 100.0	4 80.0	-	1 20.0
	30～34歳	-	-	-	-
	35～39歳	-	-	-	-
	40～44歳	-	-	-	-
	45～49歳	3 100.0	1 33.3	2 66.7	-
	50～54歳	1 100.0	-	1 100.0	-
	55～59歳	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-
	60～64歳	6 100.0	-	6 100.0	-
	不明・無回答	-	-	-	-

上段:度数 下段:%		問26 あなたは現在(又は卒業後)、就職を希望していますか			
		合計	希望している	希望していない	不明・無回答
*年齢の項目	全体	209 100.0	113 54.1	86 41.1	10 4.8
	24歳以下	37 100.0	36 97.3	-	1 2.7
	25～29歳	14 100.0	8 57.1	6 42.9	-
	30～34歳	10 100.0	5 50.0	4 40.0	1 10.0
	35～39歳	39 100.0	23 59.0	16 41.0	-
	40～44歳	45 100.0	21 46.7	23 51.1	1 2.2
	45～49歳	25 100.0	13 52.0	11 44.0	1 4.0
	50～54歳	15 100.0	4 26.7	9 60.0	2 13.3
	55～59歳	6 100.0	1 16.7	5 83.3	-
	60～64歳	18 100.0	2 11.1	12 66.7	4 22.2
	不明・無回答	-	-	-	-

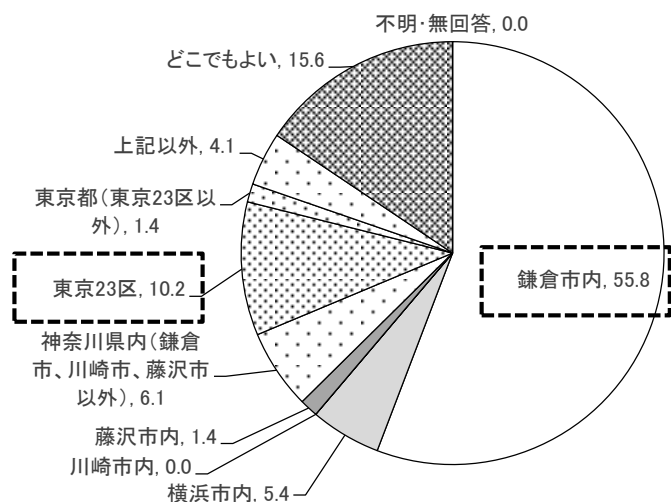
I. 市民対象調査

h-3. 学生・専業主婦・主夫・無職の就労意向

- 「就労を希望している」と回答した方のうち、働きたい場所として、「鎌倉市内」と回答した方が55.8%、「東京23区」と回答した方が10.2%となります。
- 「就労を希望している」と回答した方のうち、働きたい職種として、「生活関連サービス業、娯楽業」と「教育、学習支援業」と回答した方がそれぞれ19.7%を占めています。

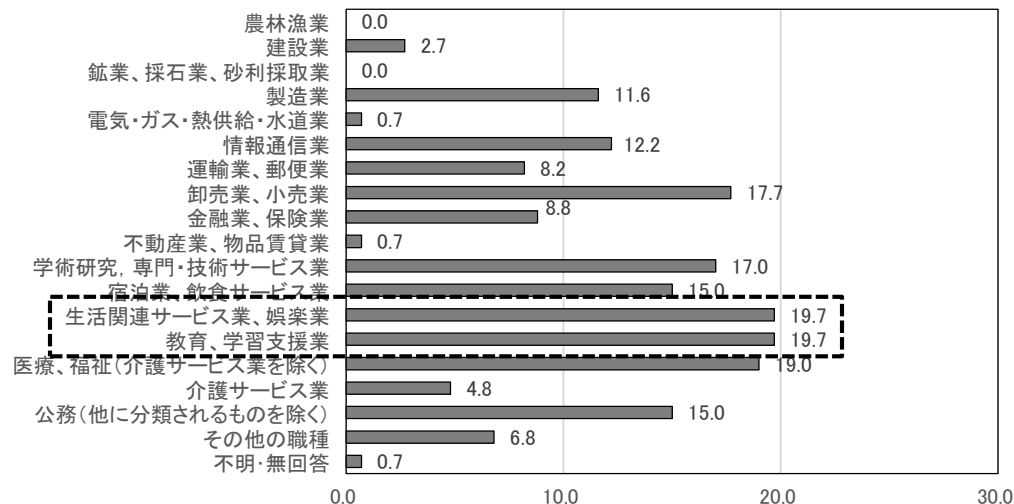
(n=147)

問27(2) どこで働きたいと思いますか



(n=147)

問27(3) どのような職種で働きたいと思いますか



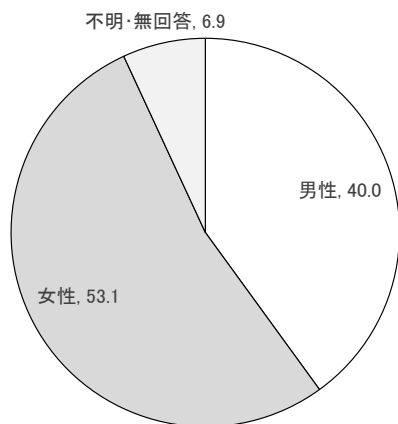
II. 転入・転出調査(転入)

II. 転入・転出調査(転入)

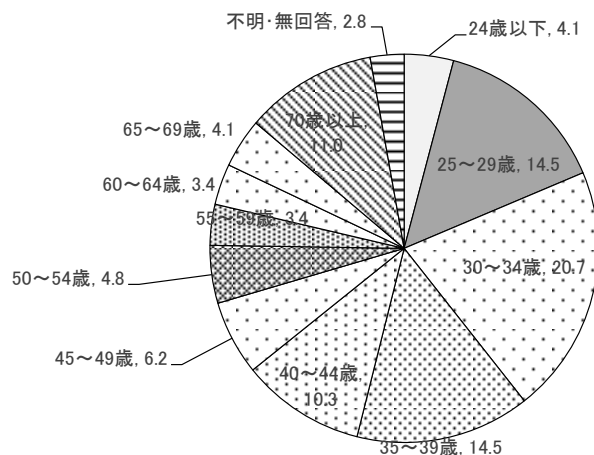
a-1. 属性

- 男女構成比は、「男性」40.0%、「女性」53.1%になっています。
- 年齢構成比では、40歳未満で65%程度、「40～44歳」10.3%、「45～49歳」6.2%、50歳以上で25%程度になっています。
- 居住地域構成比では、「鎌倉地域」21.4%、「大船地域」26.9%、「深沢地域」24.1%、「腰越地域」9.0%、「玉縄地域」13.8%となっています。

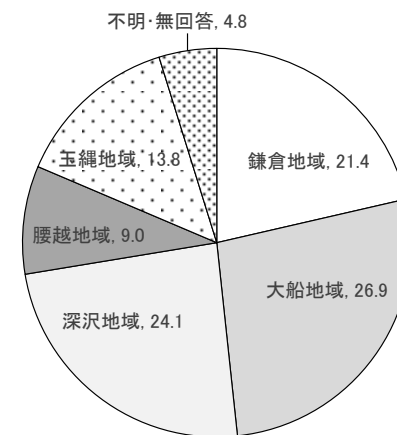
(n=145) 問1 性別



(n=145) 問2 年齢



(n=145) 問5 居住地域

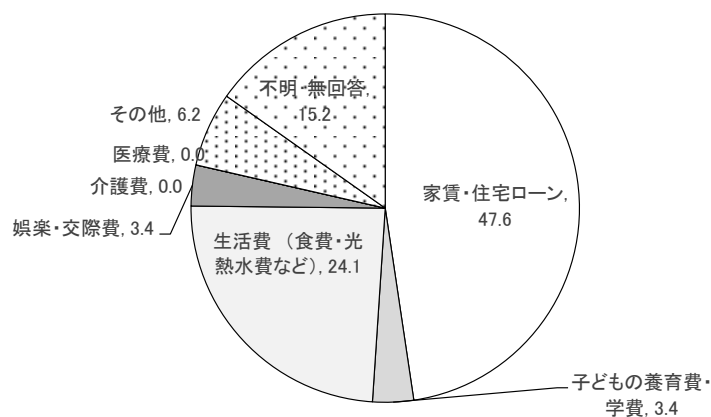


II. 転入・転出調査(転入)

a-2. 属性

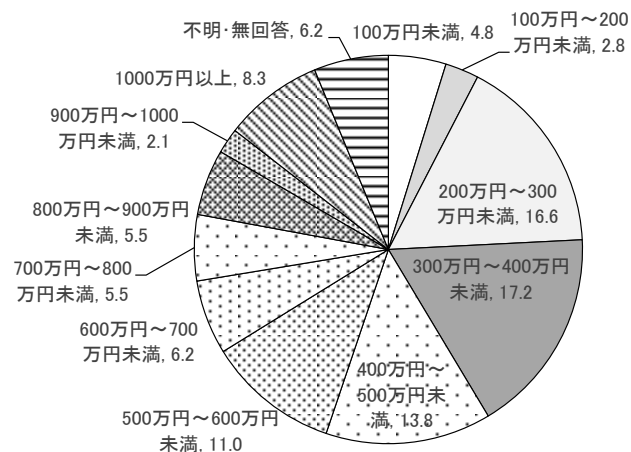
- 家計での経済的負担が大きい項目として「家賃・住宅ローン」と回答した方が47.6%、「生活費」と回答した方が24.1%、「子どもの養育費・学費」と回答した方が3.4%となっています。
- 回答者における世帯収入の総額(年間)として、「300万円～400万円未満」が17.2%、「200万円～300万円未満」が16.6%、「400万円～500万円未満」が13.8%となっています。

(n=145) 問12 家計での経済的負担が大きい



(n=145)

問13 世帯の収入

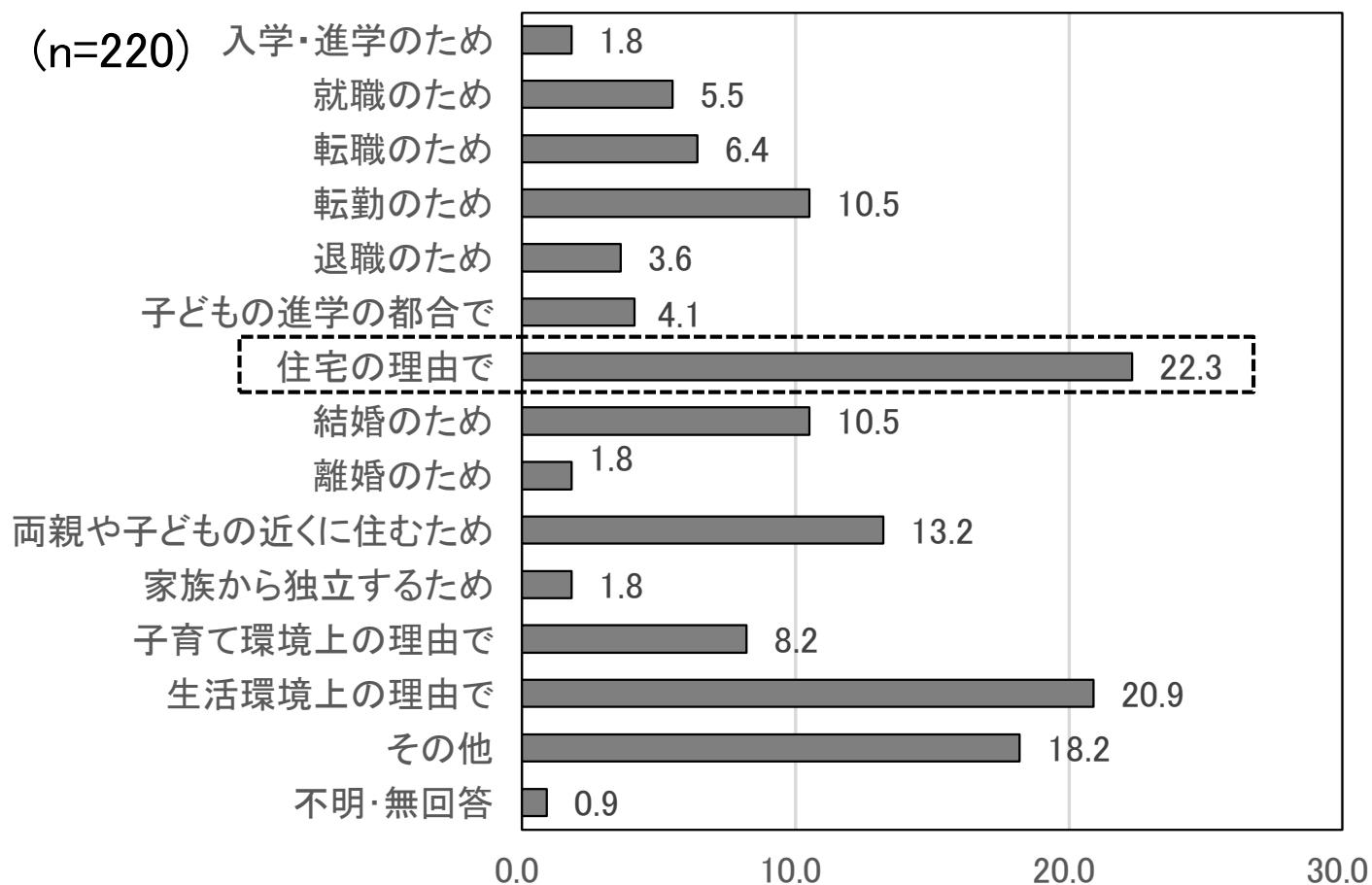


II. 転入・転出調査(転入)

b. 転入理由の把握

- 転入の理由を、「住宅の理由で」と回答した方は22.3% となっています。

問20 あなたが転居することになった大きなきっかけは何ですか



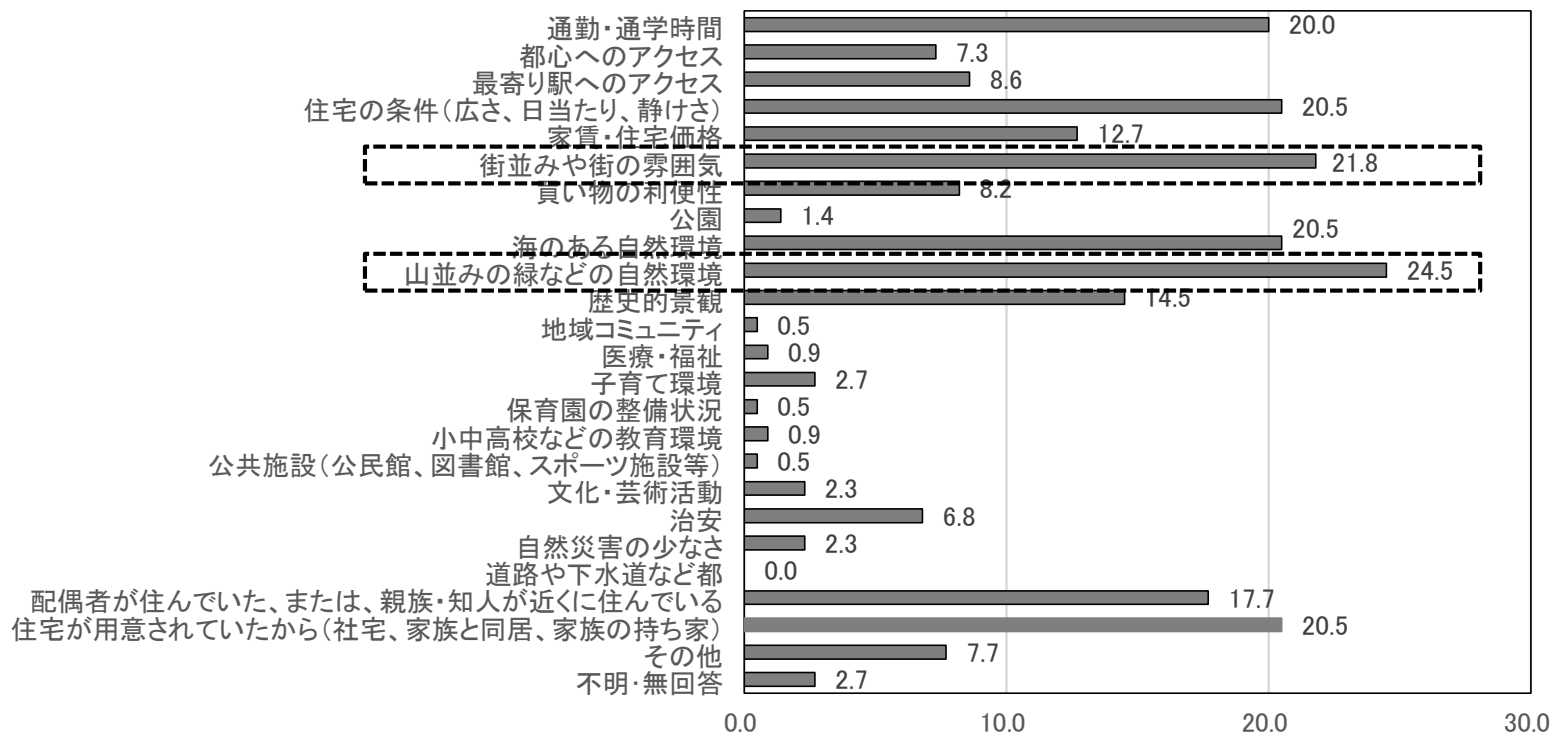
II. 転入調査

c-1. 鎌倉市の選択理由

- 鎌倉市を選択した理由として、「山並みの緑などの自然環境」と回答した方が24.5%、「街並みや街の雰囲気」が21.8%となっています。
- 「住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)」、「海のある自然環境」、「住宅が用意されていたから(社宅、家族と同居、家族の持ち家)」がそれぞれ20.5%となっています。

(n=220)

問23 転居先として鎌倉市を選んだ決め手は何ですか。



II. 転入調査

c-2. 鎌倉市の選択理由

- 転出元別にみると、「住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)」では「横浜市」、「街並みや街の雰囲気」と「山並みの緑などの自然環境」では「東京都特別区部」が高くなっている。

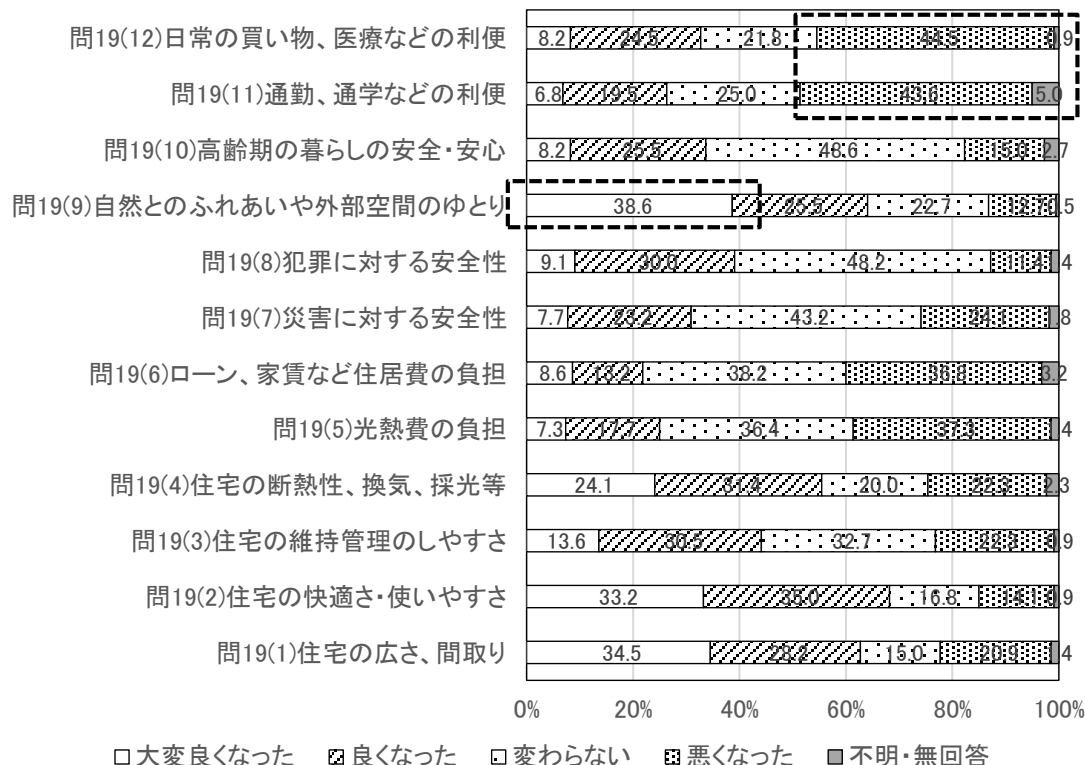
		*問14 転居前のお住まいの項目													
左列度数	右列:%	全体		横浜市		藤沢市		上記以外の神奈川県		東京都特別区部		上記以外		不明・無回答	
問2 3 転居先として鎌倉市を選んだ決め手は何ですか	合計	220	100.0	63	100.0	21	100.0	23	100.0	41	100.0	69	100.0	3	100.0
	通勤・通学時間	44	20.0	11	17.5	5	23.8	8	34.8	4	9.8	16	23.2	-	-
	都心へのアクセス	16	7.3	3	4.8	2	9.5	1	4.3	5	12.2	5	7.2	-	-
	最寄り駅へのアクセス	19	8.6	8	12.7	2	9.5	2	8.7	2	4.9	5	7.2	-	-
	住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)	45	20.5	17	27.0	5	23.8	3	13.0	9	22.0	11	15.9	-	-
	家賃・住宅価格	28	12.7	12	19.0	3	14.3	2	8.7	2	4.9	9	13.0	-	-
	街並みや街の雰囲気	48	21.8	13	20.6	3	14.3	6	26.1	14	34.1	11	15.9	1	33.3
	買い物の利便性	18	8.2	9	14.3	1	4.8	3	13.0	-	-	5	7.2	-	-
	公園	3	1.4	1	1.6	-	-	-	-	1	2.4	-	-	1	33.3
	海のある自然環境	45	20.5	6	9.5	4	19.0	5	21.7	17	41.5	13	18.8	-	-
	山並みの緑などの自然環境	54	24.5	17	27.0	3	14.3	3	13.0	18	43.9	11	15.9	2	66.7
	歴史的景観	32	14.5	9	14.3	-	-	3	13.0	14	34.1	6	8.7	-	-
	地域コミュニティ	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.4	-	-
	医療・福祉	2	0.9	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2.9	-	-
	子育て環境	6	2.7	-	-	1	4.8	1	4.3	3	7.3	1	1.4	-	-
	保育園の整備状況	1	0.5	-	-	1	4.8	-	-	-	-	-	-	-	-
	小中高校などの教育環境	2	0.9	-	-	1	4.8	-	-	1	2.4	-	-	-	-
	公共施設(公民館、図書館、スポーツ施設等)	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.4	-	-
	文化・芸術活動	5	2.3	1	1.6	-	-	-	-	3	7.3	1	1.4	-	-
	治安	15	6.8	4	6.3	3	14.3	1	4.3	5	12.2	2	2.9	-	-
自然災害の少なさ	5	2.3	1	1.6	2	9.5	-	-	2	4.9	-	-	-	-	
道路や下水道など都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
配偶者が住んでいた、または、親族・知人が近くに住んでいる	39	17.7	12	19.0	6	28.6	2	8.7	7	17.1	11	15.9	1	33.3	
住宅が用意されていたから(社宅、家族と同居、家族の持ち家)	45	20.5	12	19.0	-	-	6	26.1	6	14.6	21	30.4	-	-	
その他	17	7.7	4	6.3	2	9.5	3	13.0	3	7.3	5	7.2	-	-	
不明・無回答	6	2.7	3	4.8	2	9.5	-	-	-	-	1	1.4	-	-	

II. 転入・転出調査(転入)

d. 住宅の住み替えの評価

- 鎌倉市に転入してきた方では、「日常の買い物、医療などの利便」や「通勤、通学などの利便」が悪くなったと感じており、「自然とのふれあいや外部空間のゆとり」を大変よくなったと感じています。

(n=220) 問19 転居により、住宅及び居住環境の変化



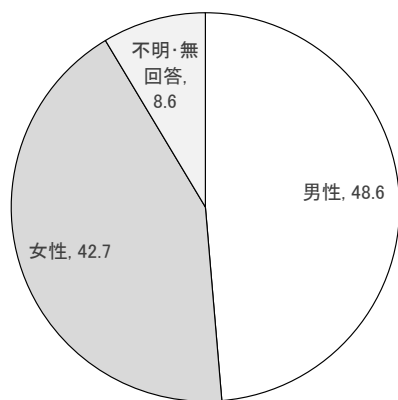
III. 転入・転出調査(転出)

III. 転入・転出調査(転出)

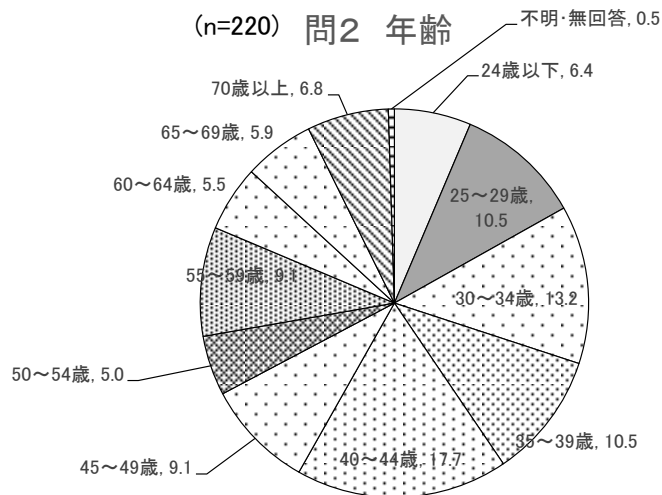
a-1. 属性

- 男女構成比は、「男性」48.6%、「女性」42.7%になっています。
- 年齢構成比では、40歳未満で40%程度、「40～44歳」17.7%、「45～49歳」9.1%、50歳以上で32.3%程度になっています。
- 居住地域構成比では、「鎌倉地域」27.7%、「大船地域」33.2%、「深沢地域」14.5%、「腰越地域」8.6%、「玉縄地域」14.5%となっています。

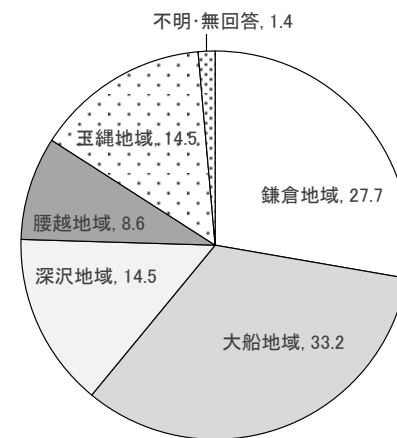
(n=220) 問1 性別



(n=220) 問2 年齢



(n=220) 問5 居住地域

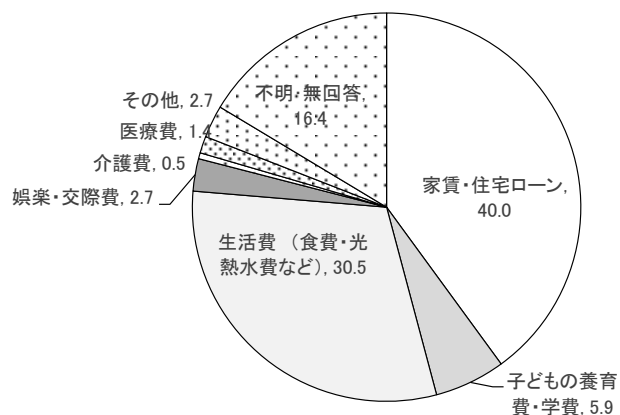


III. 転入・転出調査(転出)

a-2. 属性

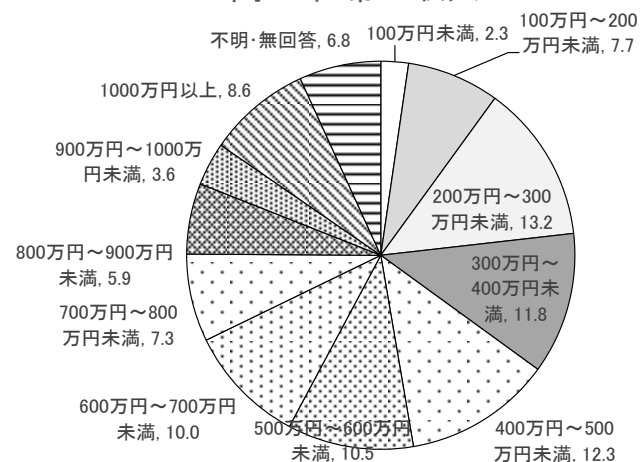
- 家計での経済的負担が大きい項目として「家賃・住宅ローン」と回答した方が40.0%、「生活費」と回答した方が30.5%、「子どもの養育費・学費」と回答した方が5.9%となっています。
- 回答者における世帯収入の総額(年間)として、「200万円～300万円未満」が13.2%、「400万円～500万円未満」が12.3%「300万円～400万円未満」が11.8%、「500万円～600万円未満」が10.5%となっています。

(n=220) 問12 家計での経済的負担が大きい



(n=220)

問13 世帯の収入

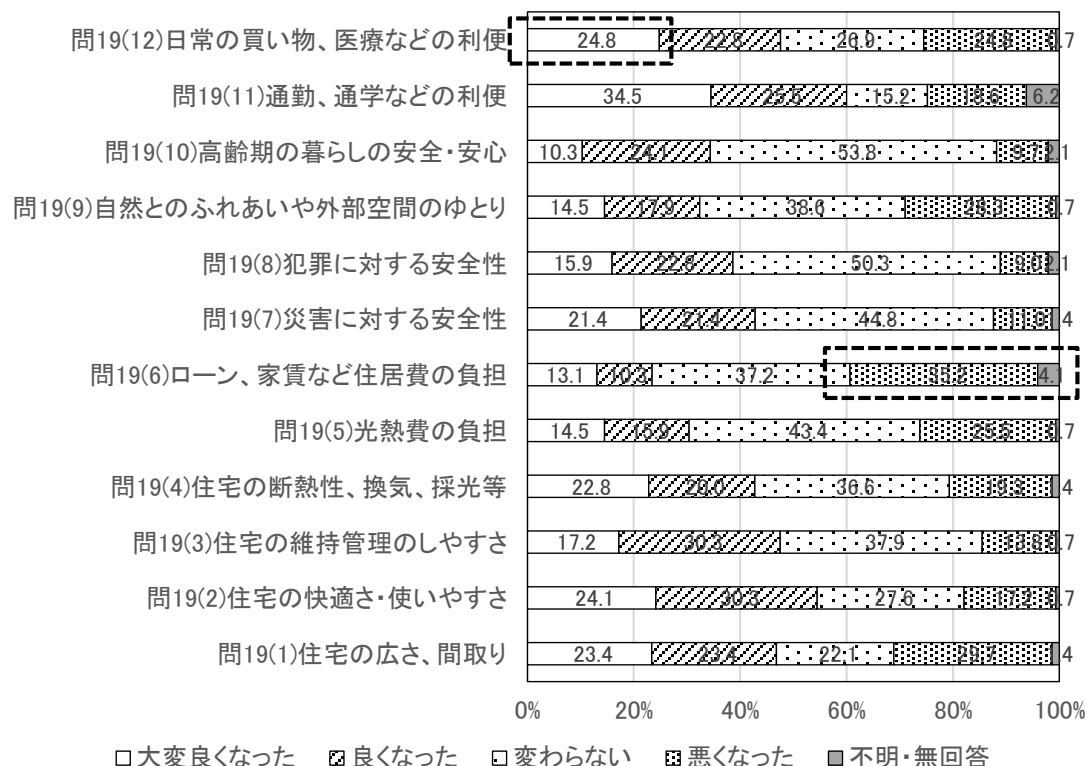


III. 転入・転出調査(転出)

b. 住宅の住み替えの評価

- 鎌倉市から転出した方では、「ローン、家賃などの住居費」が悪くなったと感じており、「通勤、通学などの利便」は大変よくなったと感じています。

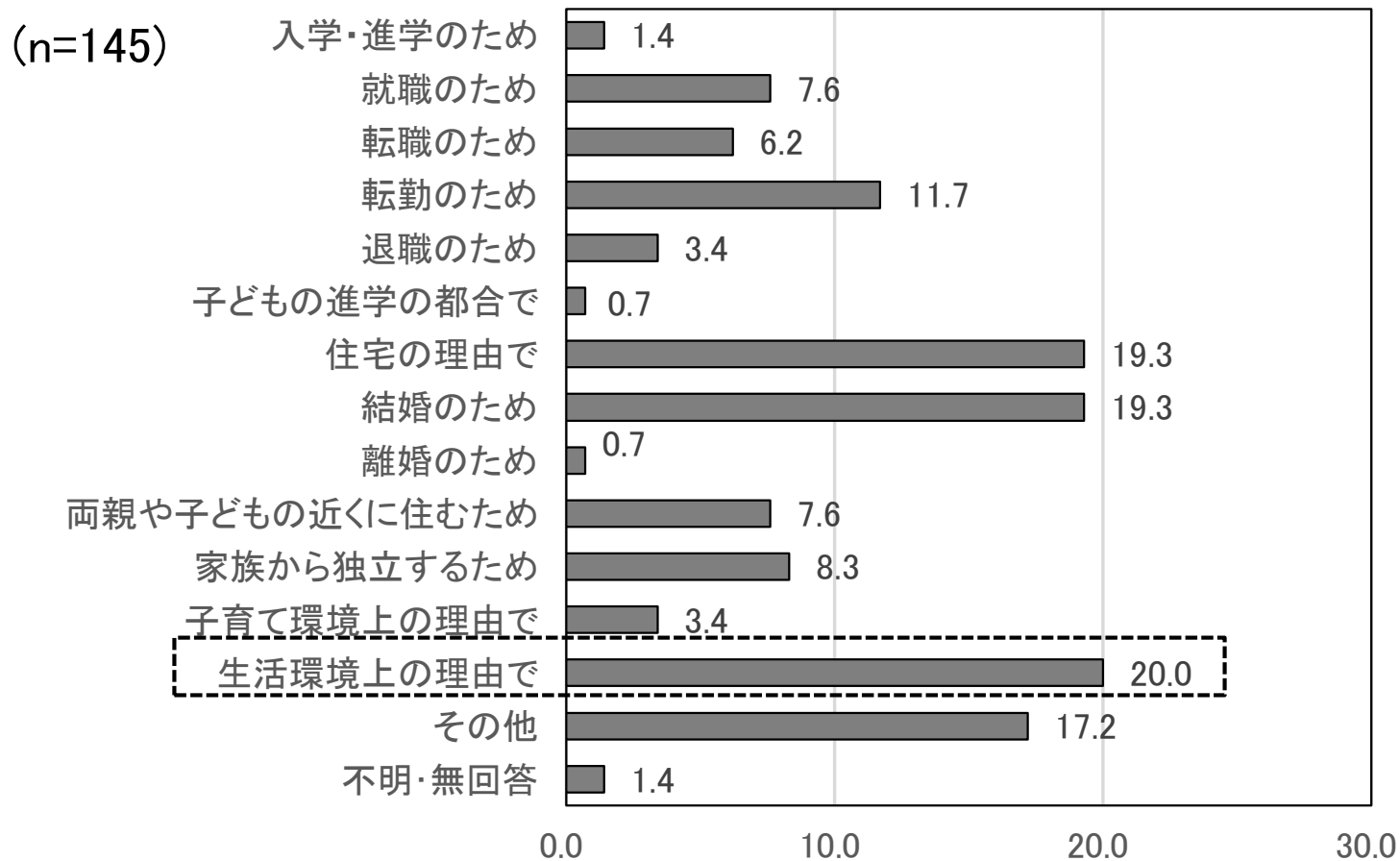
(n=145) 問19 転居により、住宅及び居住環境の変化



c. 転出理由の把握

- 転出の理由を、「生活環境上の理由で」と回答した方は20.0%となっています。

問20 あなたが転居することになった大きなきっかけは何ですか



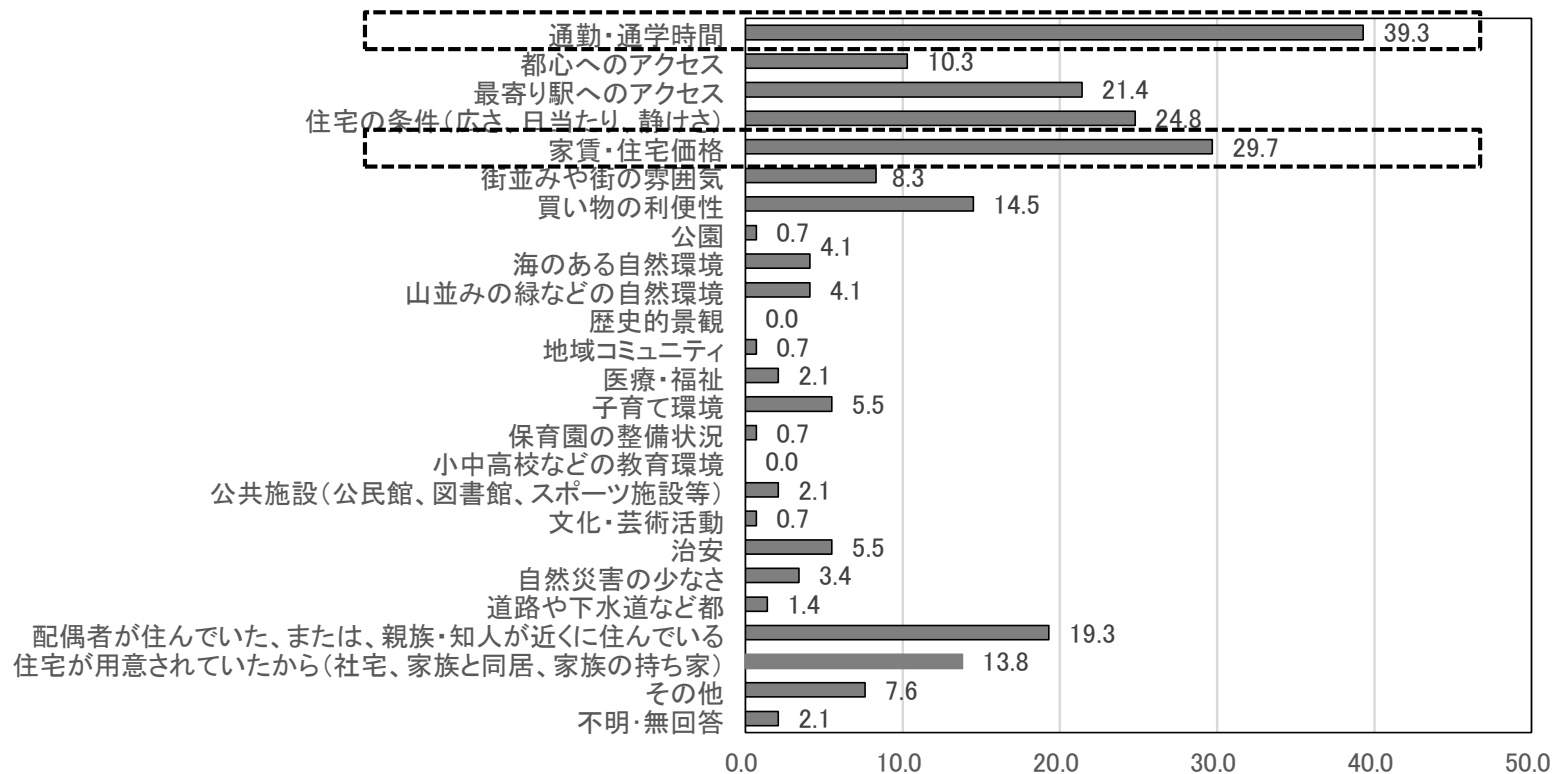
III. 転入・転出調査(転出)

d-1. 転居先を選んだ理由

- 鎌倉市から転居先を選んだ理由として、「通勤・通学時間」と回答した方が39.3%、「家賃・住宅価格」が29.7%となっています。
- 「住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)」が24.8%、「最寄り駅へのアクセス」が21.4%で続いています。

(n=145)

問23 転居先(現在お住まいの地域)を選んだ決め手は何ですか



III. 転入・転出調査(転出)

d-2. 転居先を選んだ理由

- 転居先別にみると、「通勤・通学時間」では「東京都特別区部」、「住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)」では「横浜市」、「家賃・住宅価格」では「藤沢市」が高くなっている。

		*問14 現在はどこらにお住まいですか													
左列:度数	右列:%	全体		横浜市		藤沢市		上記以外の神奈川県		東京都特別区部		上記以外		不明・無回答	
問23 転居先(現在お住まいの地域)を選んだ決め手は何ですか	合計	145	100.0	39	100.0	14	100.0	29	100.0	22	100.0	38	100.0	3	100.0
	通勤・通学時間	57	39.3	17	43.6	3	21.4	10	34.5	11	50.0	14	36.8	2	66.7
	都心へのアクセス	15	10.3	1	2.6	1	7.1	4	13.8	7	31.8	2	5.3	-	-
	最寄り駅へのアクセス	31	21.4	7	17.9	4	28.6	8	27.6	6	27.3	6	15.8	-	-
	住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)	36	24.8	15	38.5	4	28.6	11	37.9	2	9.1	4	10.5	-	-
	家賃・住宅価格	43	29.7	16	41.0	10	71.4	9	31.0	3	13.6	4	10.5	1	33.3
	街並みや街の雰囲気	12	8.3	-	-	2	14.3	2	6.9	4	18.2	4	10.5	-	-
	買い物の利便性	21	14.5	5	12.8	5	35.7	6	20.7	2	9.1	3	7.9	-	-
	公園	1	0.7	1	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	海のある自然環境	6	4.1	1	2.6	2	14.3	2	6.9	-	-	1	2.6	-	-
	山並みの緑などの自然環境	6	4.1	-	-	-	-	2	6.9	1	4.5	3	7.9	-	-
	歴史的景観	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	地域コミュニティ	1	0.7	-	-	-	-	-	-	1	4.5	-	-	-	-
	医療・福祉	3	2.1	1	2.6	1	7.1	1	3.4	-	-	-	-	-	-
	子育て環境	8	5.5	4	10.3	3	21.4	-	-	1	4.5	-	-	-	-
	保育園の整備状況	1	0.7	1	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小中高校などの教育環境	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	公共施設(公民館、図書館、スポーツ施設等)	3	2.1	1	2.6	1	7.1	-	-	1	4.5	-	-	-	-
	文化・芸術活動	1	0.7	-	-	-	-	-	-	1	4.5	-	-	-	-
	治安	8	5.5	2	5.1	2	14.3	1	3.4	3	13.6	-	-	-	-
	自然災害の少なさ	5	3.4	1	2.6	-	-	-	-	-	-	4	10.5	-	-
道路や下水道など	2	1.4	1	2.6	1	7.1	-	-	-	-	-	-	-	-	
配偶者が住んでいた、または、親族・知人が近くに住んでいる	28	19.3	8	20.5	2	14.3	9	31.0	3	13.6	6	15.8	-	-	
住宅が用意されていたから(社宅、家族と同居、家族の持ち家)	20	13.8	3	7.7	-	-	3	10.3	3	13.6	10	26.3	1	33.3	
その他	11	7.6	4	10.3	-	-	1	3.4	1	4.5	5	13.2	-	-	
不明・無回答	3	2.1	-	-	-	-	-	-	2	9.1	-	-	1	33.3	

IV. まとめ

IV. まとめ

調査から浮かびあがる市民のイメージ

鎌倉市地方創生に関するアンケート調査 市民のイメージ（例）

市民調査

育児に取り組む 共働き夫婦

（イメージ例）

- 40代後半既婚男性、夫婦子ども2人と同居。自分は東京に正社員として勤務、妻は市内の医療福祉業で勤務。鎌倉地域在住。世帯年収は1000万円以上。
- 就学前の子どもを預けるために、送り迎えを夫婦でやっている。2人目の子どもができ、養育費が経済的負担となっている。
- 子育てのため、妻は時間をつくるため時短とするが養育費の負担が高いため働かないわけにはいかない。

想定される主要施策

父親・母親のワークスタイル
にあった保育サービスの充実

転入調査

子どもなし 共働き夫婦

（イメージ例）

- 30代前半既婚女性、夫は東京で正社員としてメーカー勤務。自分は東京で正社員として研究所勤務。市内夫婦ふたり暮らし。
- 住宅事情や優れた生活環境を求めて、横浜市から鎌倉市に転入してきた。自然環境が豊かな点や街の雰囲気は気に入っている。
- 住んでみると日常の買い物、医療の利便などが悪く、自身の通勤にも不便だと思うようになった。

想定される主要施策

鎌倉らしさを体感でき、かつ
利便性の高い生活環境づくり

転出調査

横浜市へ転出した 独身男性

（イメージ例）

- 30代後半独身男性、自分は東京に正社員としてメーカー勤務。横浜市在住。年収300万円～400万円未満。
- 以前から家賃や生活費が高いと感じており、勤務先の東京への通勤時間がかかることも負担となっていた。
- 横浜市に移り、自然とのふれあいや外部空間のゆとりがうすれたが、時間的にも経済的にも余裕が生まれた。

想定される主要施策

職住近接型の仕事の創造や最
寄駅へのアクセスの改善など